

ENEREZZA[®] Plus II

エネレッツアプラス II



システム型式

ご利用のシステム型式にチェックマーク を入れ、お問い合わせ時にご利用ください。

EGS-MC0570	EGS-MC1140	EGS-MC1710	PVS-592E
EGS-ML0570	EGS-ML1140	EGS-ML1710	PVS-592
EGS-LM0570	EGS-LM1140	EGS-LM1710	

H 型式は公共・産業用のシステム型式です。

EGS-MC0570-H	EGS-MC1140-H	EGS-MC1710-H	PVS-592E-H
EGS-ML0570-H	EGS-ML1140-H	EGS-ML1710-H	PVS-592-H
EGS-LM0570-H	EGS-LM1140-H	EGS-LM1710-H	

このたびは、「Enezza Plus II」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。
保証書は大切に保管してください。

(取扱説明書は予告なく改訂される場合があります。)

最新の取扱説明書は下記URLもしくはQRコードよりダウンロードしてください。

https://www.kyocera.co.jp/solar/support/download/uploads/Enezza_Plus2_torisetsu.pdf



目次

お使いになる前に	
安全のために必ずお守りください	5
取扱い上のお願い	7
準備	
運転を開始する	9
ご利用のEnezza® Plus IIの構成を知る	11
併設機器について	11
Enezza® Plus IIの構成	12
各部の名称	14
パワーコンディショナ	14
拡張ユニット (マルチ/ハイブリッド)	14
蓄電池ユニット	15
リモコン	16
通信モデム (オプション)	17
リモコンについて	18
リモコンの操作	18
表示画面の見かた	18
表示画面を切替える	19
各種情報の表示内容	19
メニューを利用する	24
設定項目一覧	25
停電に備えた準備をする	
停電時の電気製品利用に関するご注意	26
停電時に使用する電気製品の設置例 (11.4kWhの場合)	27
停電時の使用電力の優先順位	27
停電時の燃料電池の使用について	27
停電時の併設太陽光発電システムの使用について	28
Enezza® Plus IIの停電時の動作を知りたい (非常時運転モードについて)	29
「太陽光発電+蓄電池ユニット」のときに使用できる非常時運転モードについて	29
「蓄電池ユニットのみ」のときに使用できる非常時運転モードについて	31
「太陽光発電のみ」のときの停電時の動作について	32
停電時の使いかたに合わせて準備をする	33
「太陽光発電+蓄電池ユニット」での設定をする	33
「蓄電池ユニットのみ」での設定をする	34
「太陽光発電のみ」での設定をする	35

停電に備えて本システムの設定をカスタマイズする	36
停電時に使用できる電力量を確保する	36
停電時に出力可能な電力を設定する	37
外部電源を利用するためにリモコンを設定する	38
警報受信時に強制的に蓄電池に充電するように設定する	42

停電時の使いかた（自立運転）

停電発生時の操作	45
停電時に外部電源を利用する（オプション）	46
外部電源の準備をする	46
外部電源で電力供給する	47
停電復帰時の操作	51
外部電源を片付ける	51
停電時に蓄電池残量がなくなってしまったときは	54
太陽光発電ができる場合	54
外部電源で電力供給できる場合（オプション）	55
併設太陽光発電システムで発電できる場合	55

通常の使いかた（連系運転）

Enezza® Plus II の通常の動作を知りたい（運転モードについて）	57
「太陽光発電＋蓄電池ユニット」のときに使用できる運転モードについて	57
「蓄電池ユニットのみ」のときに使用できる運転モードについて	60
「太陽光発電のみ」のときの通常動作について	61
通常の使いかたを設定する	61
「太陽光発電＋蓄電池ユニット」での設定をする	61
「蓄電池ユニットのみ」での設定をする	62
「太陽光発電のみ」での設定をする	63
蓄電池の充放電の動作をカスタマイズする	64
充電時刻／放電時刻を設定する	64
買電充電量を設定する	66
お知らせを確認する	67
充放電を一時的に止める	68

その他の設定をする

日時を設定する	69
画面の明るさを変更する	71
画面オフ時間を変更する	72
操作音を変更する	73
アンペアブレーカ値を変更する	74

ネットワークの設定について	75
誤ってネットワーク設定画面に入ってしまったときは	75
ネットワークの通信状態を確認する	75
機器情報(ゲートウェイIDなど)を確認する	77

こんなときは

お困りのときは	78
長期不在になる	81
システムを停止／開始する	82
システムを停止する	82
システムを起動する	83
風水害時の対応	85
水没のおそれがあるとき	85
水没したとき	85
地震時の対応	85

エラーメッセージ

エラーメッセージが表示されたら	86
エラーメッセージ一覧	86
他の機器(制御機器)と本システム接続時のエラー表示に関する注意点	89

保証とアフターサービス



保証について	90
アフターサービスについて	90
Enerezza® Plus II の移設について	90
蓄電池ユニットの廃棄について	90
蓄電池ユニットの増設について	90
拡張ユニット(マルチ/ハイブリッド)の増設について	91
ソフトウェアの自動更新について	91
蓄電池ユニットのメンテナンスモードについて	91
メンテナンスモード中の動作	91
メンテナンスモードが長時間継続し、終わらない場合	92
蓄電池ユニットのメンテナンスについて	92



その他

仕様	93
外形寸法	95
リモコンの初期値一覧	96
ソフトウェアライセンスについて	97
補助金に関するご注意	99



安全のために必ずお守りください

- ご使用前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。





・ここに示した事項は、警告 注意に区分しています。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される事項
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合、および物的損害の発生が想定される事項

・絵表示については次のような意味があります。

 特定しない一般的な禁止を通告する表示	 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示
--	--

警告

 分解・改造をしない <ul style="list-style-type: none">・感電・火災のおそれがあります。・保証対象外となります。
 蓄電池ユニットおよびパワーコンディショナ、拡張ユニットのフロントカバーを開けない <ul style="list-style-type: none">・内部に電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
 強い衝撃を与えない <ul style="list-style-type: none">・変形して短絡し、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります。
 上に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、物を載せない <ul style="list-style-type: none">・装置が変形・脱落し、感電・けが・故障のおそれがあります。
 子供を本製品の周囲で遊ばせたり、本製品に触れさせたり、操作させたりしない <ul style="list-style-type: none">・感電・火災・けがのおそれがありますので、十分に管理してください。
 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器(ICD)を使用している方は、運転中の本製品に近づかない <ul style="list-style-type: none">・機器本体からの電磁波が、ペースメーカーおよびICDの作動に影響を与えるおそれがあります。
 災害などにより本システムが浸水、水没、変形、破損、転倒などした場合、本製品には近づかない <ul style="list-style-type: none">・感電、有害ガス発生、発火等の危険がありますので、「風水害時の対応」(P.85)に従って本システムを停止させ、すみやかに買い上げの販売会社にご連絡ください。
 可燃性ガスや引火物を近くに置かない 可燃性ガスを含む殺虫剤などを近くで使用しない <ul style="list-style-type: none">・電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火するおそれがあります。
 動作中や停止直後にパワーコンディショナ、拡張ユニット上部の高温部に触れない <ul style="list-style-type: none">・やけどの原因となります。

警告



自立運転時、コンセントには灯油やガスを用いた暖房機器、電熱機器など、火災を引起こす可能性のあるものを接続しない

- ・災害時に接続している機器の異常に気が付かないまま使用することで、火災のおそれがあります。



自立運転時、EXボックスのプラグをコンセントに繋がない

- ・感電・火災・故障のおそれがあります。



自立運転時、EXボックスに接続した外部電源から給電しているときは、外部電源を充電するためにコンセントに接続しない

- ・感電・火災・故障のおそれがあります。



自立運転時、コンセントには、生命にかかわる機器(医療機器)や途中で電源が切れると困る電気製品は接続しない

- ・蓄電池の電力が不足すると機器が停止するおそれがあります。



煙が出ていたり、異臭がする場合は、すぐにERZP自動切替盤の蓄電システム用漏電ブレーカとリモコンの電源スイッチを「OFF」にする

- ・そのまま使用すると火災のおそれがあります。お買い上げの販売会社にご連絡ください。



取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売会社に依頼する

- ・販売会社に依頼しない場合は、感電・火災のおそれがあります。
- ・依頼しない場合は、保証対象外となります。

注意



点検コードが連続的に表示されている状態のまま放置しない

- ・蓄電池が充電されず、使用できなくなる可能性があります。



高圧洗浄機で本体を洗浄しない

- ・内部に水が浸入し故障のおそれがあります。



リモコンを濡れた手で触れたり、濡れた布でふかない

- ・感電・故障のおそれがあります。



通気口などに物(金属、紙)を差込んだり中に入れたりしない

- ・故障のおそれがあります。



長期外出時は契約ブレーカと蓄電システム用漏電ブレーカをOFFしない

- ・蓄電池に長期間充電されない状態が続くと、急速に劣化が進み本製品を使用できなくなる可能性があります。

取扱い上のお願い

●本書では、本システムの停電時の運転を「自立運転」、停電時以外の運転を「連系運転」と表記しています。

●正常な動作が保証されないため、次のような場所には取付けない

蓄電池ユニット、パワーコンディショナ、
マルチ拡張ユニット、ハイブリッド拡張ユニット

リモコン、通信モデム(オプション)

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 標高1500mより高いところ | <input type="checkbox"/> 屋外 |
| <input type="checkbox"/> 重塩害地域 | <input type="checkbox"/> 温度変化が激しいところ |
| <input type="checkbox"/> 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ | <input type="checkbox"/> 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ |
| <input type="checkbox"/> 振動、衝撃の影響が大きいところ | <input type="checkbox"/> 振動、衝撃の影響が大きいところ |
| <input type="checkbox"/> 油蒸気、結露および氷結のあるところ | <input type="checkbox"/> 水蒸気、油蒸気、雨水、結露、氷結のあるところ |
| <input type="checkbox"/> 積雪・浸水のおそれがあるところ | <input type="checkbox"/> 電界、磁界の影響が大きいところ |
| <input type="checkbox"/> 熱がこもりやすいところ | <input type="checkbox"/> 直射日光が当たるところ |
| <input type="checkbox"/> 電界、磁界の影響が大きいところ | <input type="checkbox"/> 塵埃のあるところ |
| <input type="checkbox"/> 直射日光が当たるところ※1 | <input type="checkbox"/> 次の温度範囲外のところ |
| <input type="checkbox"/> 風通しが悪いところ | 周囲温度:0°C-+40°C |
| <input type="checkbox"/> 設置スペースまたは外寸法を確保できないところ | <input type="checkbox"/> 電波干渉、電波障害の影響を受けるところ |
| <input type="checkbox"/> 塵埃(砂塵、粉塵、金属粉など)のあるところ | <input type="checkbox"/> その他特殊な条件、環境になるところ |
| <input type="checkbox"/> 次の温度範囲外のところ | |

・蓄電池ユニット

使用周囲温度※2: -10°C - +45°C

設置周囲温度※3: -20°C - +45°C

・パワーコンディショナ、拡張ユニット(マルチ/ハイブリッド)、EXボックス

使用周囲温度※2: -20°C - +45°C

設置周囲温度: -20°C - +45°C

その他特殊な条件、環境になるところ

※1:蓄電池ユニットに関しては、直射日光の当たるところの設置が可能な場合があります。詳しくは京セラにお問い合わせください。

※2:使用周囲温度範囲内であっても、装置内部の温度状態が低温または高温になることにより動作を抑制または停止します。機器内部温度が戻ると動作を再開します。

また、低温環境下においては充電電力が抑制されることがあるため、充電時間が長くなる場合があります。

※3:-20°C-10°Cでは大幅に抑制されますが、充電可能です。

●騒音について厳しい制約を受ける場所には設置しない

- ・運転時はファンなどの動作音が発生します。
- ・運転時の動作音は聴覚感覚が高い方にとって不快に感じることがあります。
- ・壁の構造により動作音が壁内で増幅されたり、離れた場所に音が伝わり聞こえる場合があります。また、窓付近への設置は動作音が気になる場合があります。

●コンセントには「停電時出力設定」(P.37)で設定した電力値以上の機器や突入電流が大きな機器を接続しない

- ・機器故障のおそれがあります。

●通気口が荷物や積雪で塞がらないようにする

- ・温度上昇によりエラー停止する可能性があります。

●通信モデムをハウスマイルネットワークに接続する目的以外には使用しない

- ・目的以外に使用された場合、予告なく回線提供者により強制停止されることがあります。また目的以外に使用されたときの通信費用については別途請求させていただきます。

●装置の近くでテレビやラジオなどを使用しない

- ・テレビ画面が乱れることや、ラジオに雑音が入ることがあります。3m以上離してご使用ください。
- ・電波の受信が弱い場所では電波障害を受けるおそれがあります。

- **インターネットにつながらない環境で使用しない**
 - 通信モデムはauの4G LTEサービスエリア外では、使用できません。
 - 通信モデムの設置環境によってはインターネット接続できない場合があります。通信モデムによるインターネット接続ができない場合はお客様のインターネット環境にて、リモコンを有線LANで接続してご使用ください。
- **シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない**
 - 装置の変色・変形のおそれがあります。
- **設置場所までの通路を塞がない**
 - 他の設備により修理・交換の際の搬入出経路を塞がないようにしてください。
 - 搬入出の際に他の設備の撤去・移動を行う費用はお客様のご負担となります。
- **定期的に動作状況を確認する**
 - 機器が停止または故障した場合でも、太陽光発電の売電や蓄電池の充放電による電気代等は補償対象外となります。
 - お客さまにて定期的な動作状況のご確認をお願いいたします。

運転を開始する

本システムの運転を開始するには、以下の手順で行います。

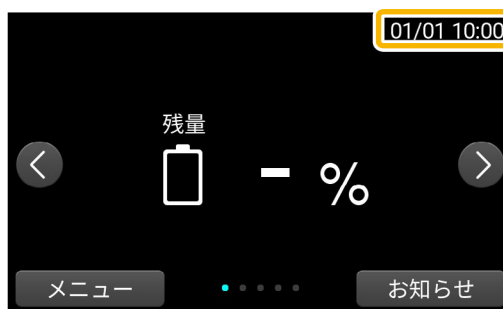
- 1 リモコンの電源スイッチを「ON」にする
・右の画面表示中はリモコンの電源スイッチを切らないでください。



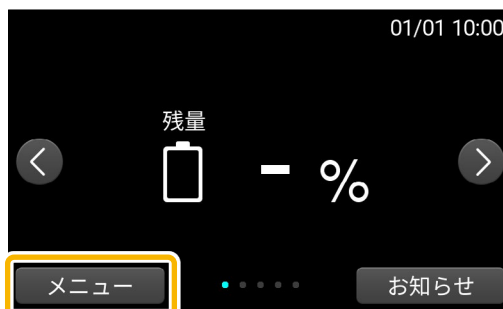
- 2 リモコンの日付と時刻を確認する
・リモコンの画面右上に表示している日付と時刻を確認してください。

注意事項

- ・現在日時と大きく異なる場合はリモコンの通信状態を確認してください (P.75)。通信状態が悪く、リモコンの表示している日時が現在日時にならない場合は、日付および時刻を手動で設定してください (P.69)。



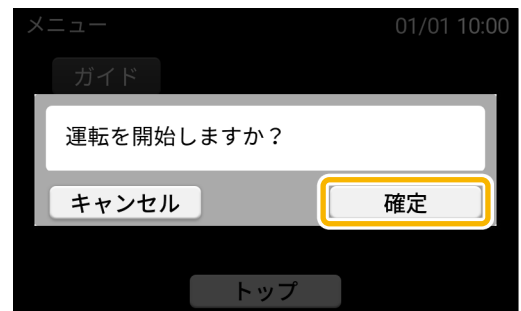
- 3 「メニュー」をタッチする



- 4 「運転開始」をタッチする



5 「確定」をタッチする



ご利用の Enerezza[®] Plus II の構成を知る

Enerezza Plus II は構成する機器により利用できる使いかたが変わります。ご利用中の機器の組み合わせを次の表でご確認ください。

機器の組み合わせは次のとおりです。本取扱説明書内の説明でも対象のアイコンが表示されている操作方法でご確認ください。

本書のアイコン	システム型式	機器の構成	説明
太陽光・蓄電池	EGS-MLxxxx(-H) ^{※1※2}	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーコンディショナ ・ハイブリッド拡張ユニット ・太陽電池モジュール ・蓄電池ユニット 	EXボックスを使用できません。
	EGS-MCxxxx(-H) ^{※1※2}	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーコンディショナ ・マルチ拡張ユニット ・太陽電池モジュール ・蓄電池ユニット 	EXボックスを使用できます。
蓄電池のみ	EGS-LMxxxx(-H) ^{※1※2}	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーコンディショナ ・蓄電池ユニット 	EXボックスを使用できません。
太陽光のみ	PVS-592(-H) ^{※2}	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーコンディショナ ・ハイブリッド拡張ユニット ・太陽電池モジュール 	EXボックスを使用できません。
	PVS-592E(-H) ^{※2}	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーコンディショナ ・マルチ拡張ユニット ・太陽電池モジュール 	EXボックスを使用できます。

※1：xxxx には数字 4 桁が入ります。「0570」は蓄電池ユニット 1 台、「1140」は蓄電池ユニット 2 台、「1710」は蓄電池ユニット 3 台です。

※2：(-H) は公共・産業用のシステム型式です。

併設機器について

本システム以外の機器も併用できますので、本書内では「併設機器」として説明しています。

利用できる機器は次のとおりです。

- ・太陽光発電システム
- ・燃料電池

お知らせ

- ・併設機器を利用する場合は動作が制限される場合があります。制限がある場合は、本書内で制限内容を記載しています。
- ・本製品と併設機器の連携動作について詳しくは、販売会社にご確認ください。

Enezza[®] Plus IIの構成

本システムでは、パワーコンディショナ、拡張ユニット、太陽電池モジュール、蓄電池ユニットの機器を組み合わせて利用することができます。下図は機器構成の一例です。

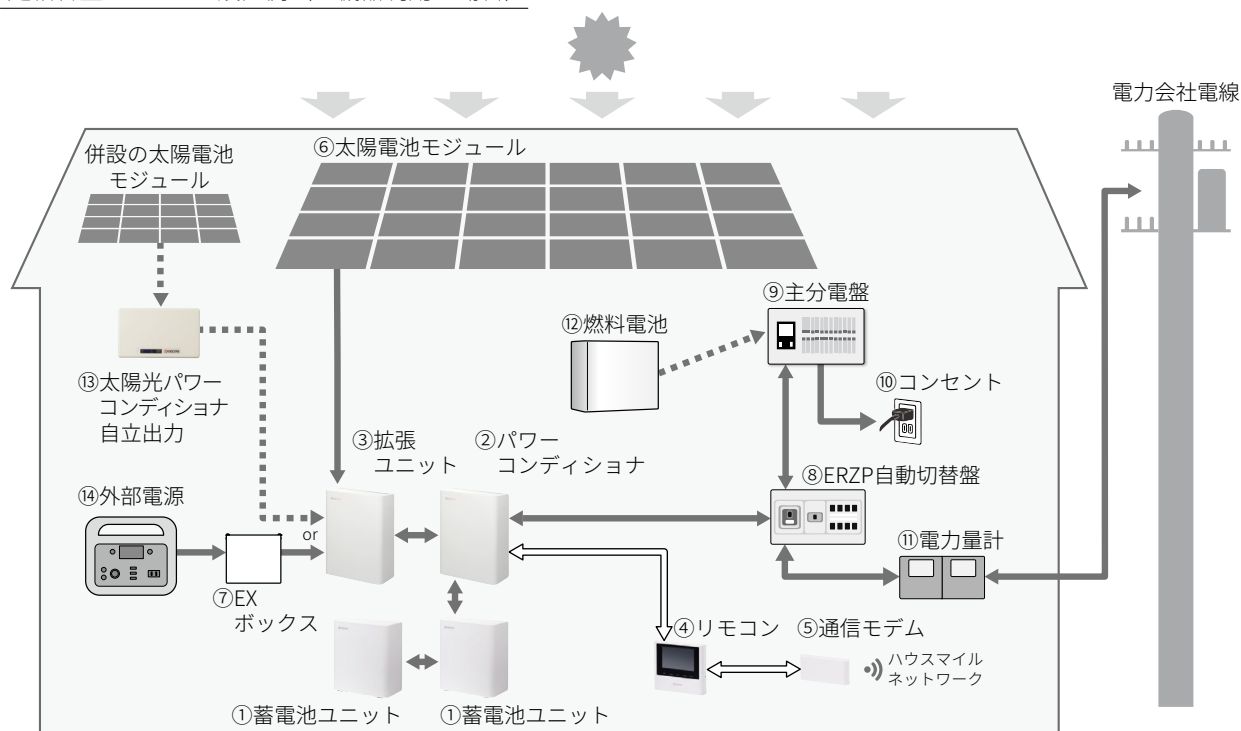
ご利用中の機器の組み合わせにより違いがある場合は、アイコンで表示しています。

太陽光+蓄電池

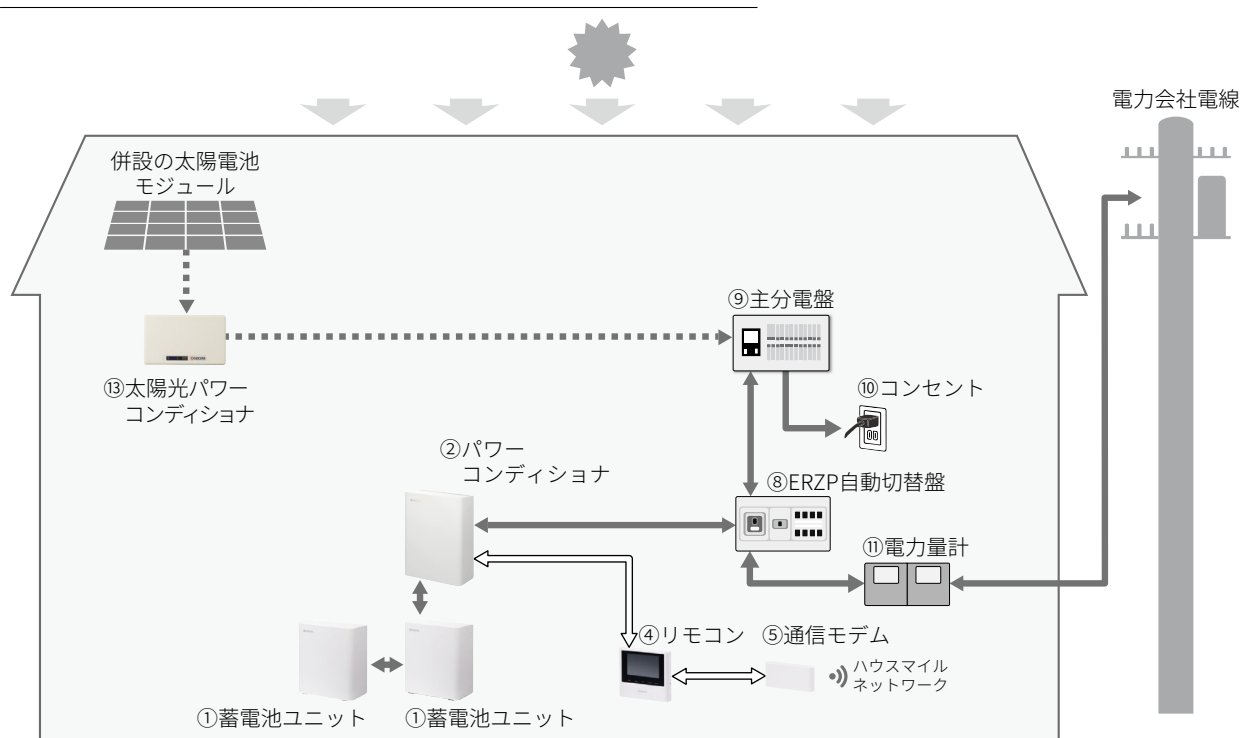
蓄電池のみ

太陽光のみ

定格容量11.4kWhの設置例（全機器利用の場合）



定格容量11.4kWhの設置例（蓄電池ユニット+併設太陽光発電の場合）



- 本システムの電気の流れ
- ⋯ 併設機器の電気の流れ
- ↔ 機器間の通信の流れ

- ① **蓄電池ユニット** 太陽光+蓄電池 蓄電池のみ
 電力を蓄えます。
 蓄電池ユニット1台で定格容量5.7kWhの電力量を蓄えることができます。最大3台まで接続でき、2台の場合は11.4kWh、3台の場合は17.1kWhになります。
- ② **パワーコンディショナ**
 電気の流れを中心的に制御する機器です。
 蓄電池ユニット、拡張ユニットなどパワーコンディショナに接続された機器の電力を供給したり、蓄電池ユニットに充電したりします。
- ③ **拡張ユニット（マルチ／ハイブリッド）** 太陽光+蓄電池 太陽光のみ
 パワーコンディショナとの電力の連携を行う機器です。拡張ユニットには次の機器が接続され、電力供給を行います。
 ・太陽電池モジュール
 ・EXボックス（マルチ拡張ユニットの場合）
- ④ **リモコン**
 表示画面を備えた操作パネルです。充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。
- ⑤ **通信モデム（オプション）**
 LTE通信により、本システムのデータを当社サーバへ送信します。また、ハウスマイル ネットワーク※もご利用いただけます。
- ⑥ **太陽電池モジュール** 太陽光+蓄電池 太陽光のみ
 太陽光を受けて発電します。
- ⑦ **EXボックス（オプション）** 太陽光+蓄電池 太陽光のみ
 ポータブルバッテリーや、電気自動車など100Vのコンセントのある機器を外部電源として接続し、電力として利用できます。
- ⑧ **ERZP自動切替盤**
 蓄電システム用漏電ブレーカ、切替スイッチを搭載しています。

Enerezza Plus II でご提供している機器

- ⑨ **主分電盤**
 契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、分岐ブレーカを搭載しています。
- ⑩ **コンセント**
 通常使用する一般的なコンセントです。
- ⑪ **電力量計**
 電力会社に売った電力（売電）と、買った電力（買電）を計量します。
- ⑫ **燃料電池**
 燃料電池を併設している場合は、燃料電池も連携して電気を利用することができます。
- ⑬ **太陽光パワーコンディショナ**
 パワーコンディショナに接続できる容量以上の太陽電池モジュールが搭載された場合は太陽光パワーコンディショナが必要になります。
【併設太陽光発電システム】
 太陽光発電システムを併設している場合は、併設太陽光発電システムも連携して電気を利用することができます。
- ⑭ **外部電源**
 停電時に所有されているポータブルバッテリーや電気自動車などの100Vコンセントのある機器の電力をパワーコンディショナを通じて供給することができます。

※ ハウスマイル ネットワークは、インターネットを使って自宅の電気使用状況を確認できるサービスです。

ログインに必要なゲートウェイ ID は、「Enerezza® Plus II ご利用ガイド（別紙）」もしくは「機器情報（ゲートウェイ ID など）を確認する（P.77）」をご確認ください。ご利用方法は下記 URL もしくは QR コードよりご確認ください。

https://www.kyocera.co.jp/solar/personal/support/hsnet/pdf/housmile_user_guide_Enerezza_Plus2.pdf

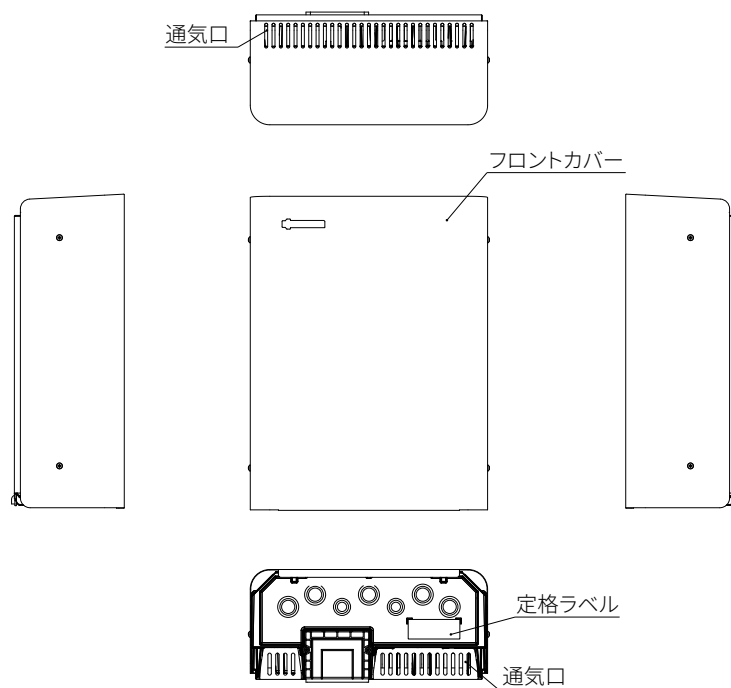


注意事項

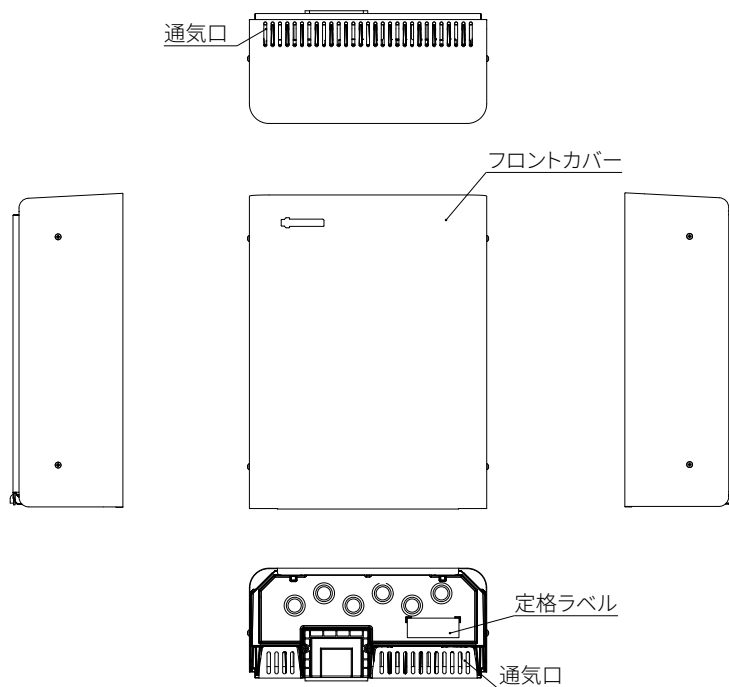
- ・太陽光パワーコンディショナが拡張ユニットに接続されている場合、EXボックスは設置できないため外部電源の接続はできません。
- ・通信モデムは4G LTEサービス終了後はインターネット接続できなくなります。

各部の名称

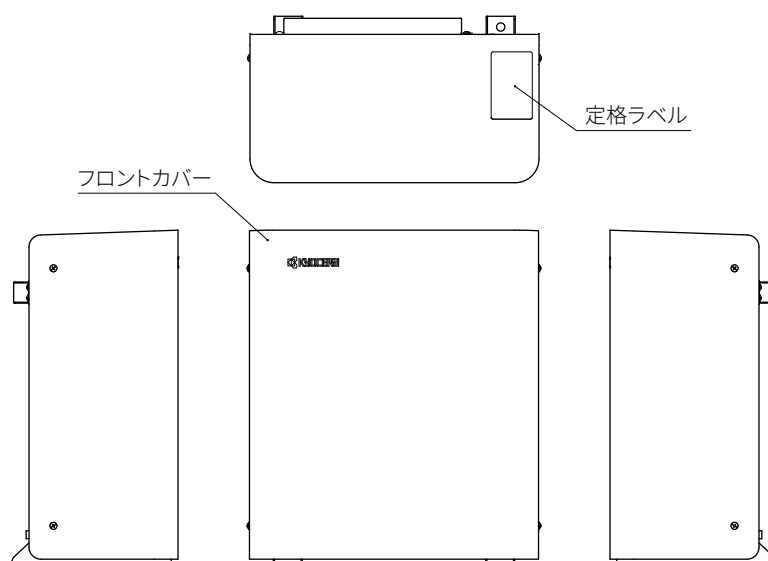
パワーコンディショナ



拡張ユニット (マルチ/ハイブリッド)



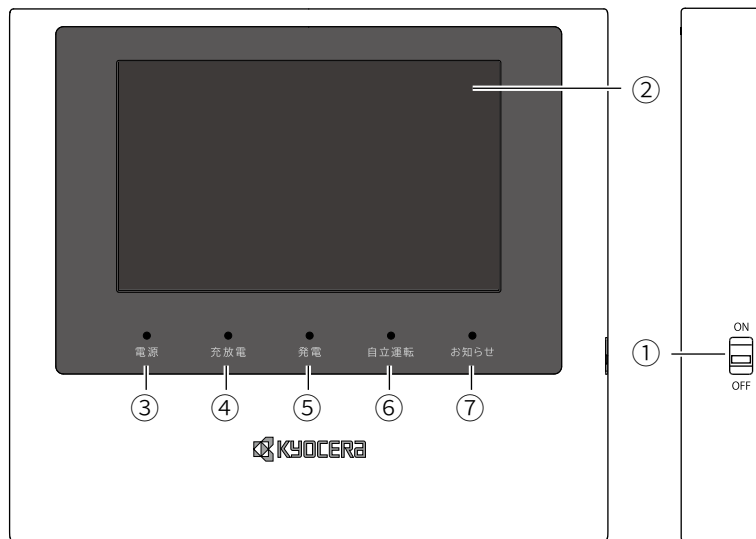
蓄電池ユニット



注意事項

- パワーコンディショナ、拡張ユニット、蓄電池ユニットのフロントカバーは開けないでください。
感電のおそれがあります。
- 蓄電池ユニット本体とフロントカバーの間には数mm程度隙間が生じる場合がありますが、防水性能に影響はありません。
- パワーコンディショナ、拡張ユニットの通気口を塞がないでください。
温度上昇し、出力抑制および自動停止するおそれがあります。
- パワーコンディショナ、拡張ユニット、蓄電池ユニットの動作中、カーテンや衣類などを接触させないでください。

リモコン



① 電源スイッチ	システムの電源スイッチです。
② 画面	画面はタッチパネルです。 表示の変更や各種設定は画面をタッチして行ってください。
③ 電源ランプ	電源「ON」時に緑点灯します。
④ 充放電ランプ	運転状態にあわせてオレンジ／緑で点灯します。 充電中：オレンジ 放電中：緑 待機中、停止中：消灯
⑤ 発電ランプ	太陽光発電中に緑点灯します。
⑥ 自立運転ランプ	自立運転中に緑点滅します。
⑦ お知らせランプ	エラー発生状態に合わせて緑点灯／緑点滅／赤点滅します。

注意事項

- ・リモコン側面の電源スイッチを「OFF」にすると、本システムが停止します。
通常時は「OFF」にしないでください。
- ・異常（エラー）時は、リモコン画面にエラー内容と解除方法が表示されます。表示内容に従って確認を行ってください。

お知らせ

- ・本機は警報ブザーを内蔵しています。エラー発生時はエラーの種類によっては本機の警報ブザーが鳴ることがあります。

通信モデム（オプション）

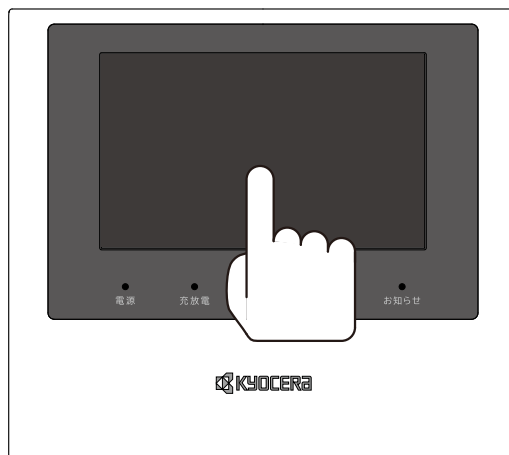
LTE 通信によりサーバに接続します。



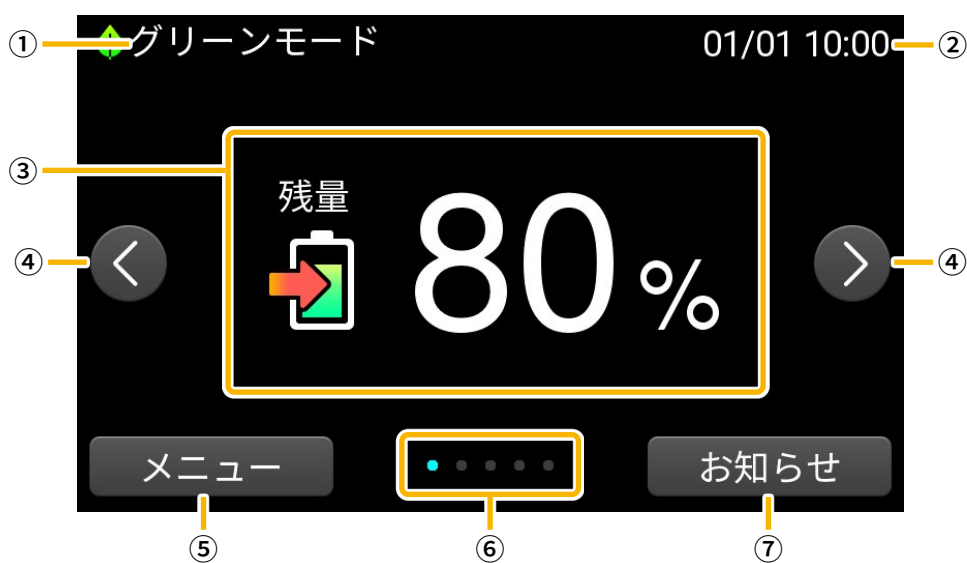
リモコンについて

リモコンの操作

本製品のリモコンはタッチパネル式で、画面に直接触れて簡単に操作できます。



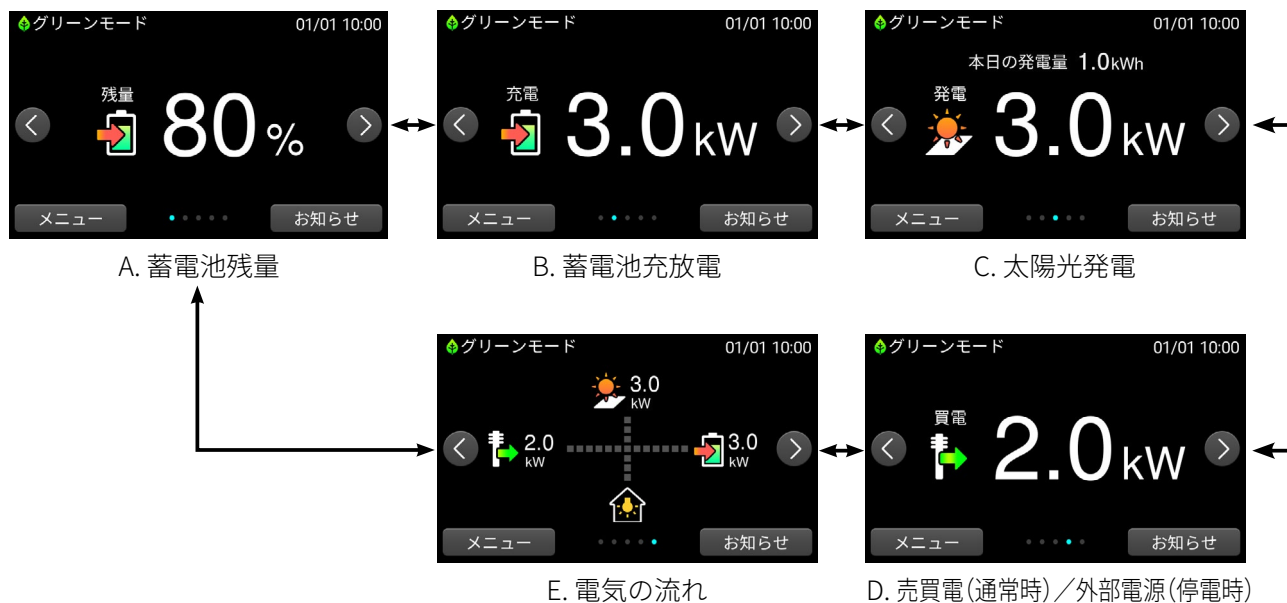
表示画面の見かた



① モード	稼働しているモードを表示します。
② 現在日時	現在日時を表示します。
③ 各種情報	A. 蓄電池残量、B. 蓄電池充放電、C. 太陽光発電、 D. 売買電（通常時）／外部電源（停電時）、E. 電気の流れ画面を表示します。
④ 切替ボタン	③各種情報画面の表示内容を切替えます。
⑤ メニュー	メニュー画面を表示します。
⑥ ロケーター	表示されている画面の種類（A-E）を表示します。
⑦ お知らせ	お知らせ画面を表示します。

表示画面を切替える

切替ボタンをタッチすることで画面を切替えて表示します。



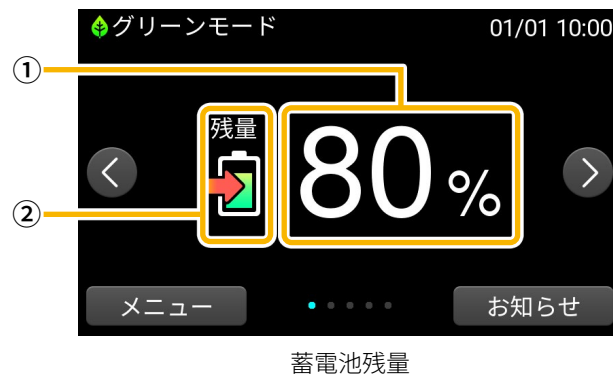
各種情報の表示内容

■A. 蓄電池残量

- ① 蓄電池の残量を0-100%で数値表示します。
- ② 本システムの運転状態と蓄電池残量をアイコン表示します。

アイコン表示	状態説明
	充電中
	放電中
	待機中

蓄電池残量が100%-16%のときは緑色、15%-1%のときは赤色で表示されます。



- ・蓄電池残量は、目安としてお使いください。蓄電池の状態により値が大きく変動することがあります。また、蓄電池残量が100%と表示された状態で充電、0%と表示された状態で放電する場合がありますが、蓄電池の基本特性によるもので故障ではありません。
- ・電力契約によっては、充電時間帯に他の電気製品（電気給湯器、床暖房など）を多く使っている場合、充電できる電力が不足し、100%まで充電できない場合があります。その場合は、電力契約の見直しなどをご検討ください。

■B. 蓄電池充放電

- ① 本システムの充電電力または放電電力を数値表示します。
なお数値は目安です。
- ② 本システムの運転状態と蓄電池残量をアイコン表示します。
※ アイコンの状態については「A. 蓄電池残量」(P.19) をご参照ください。



蓄電池充放電



■C. 太陽光発電

本システムの太陽光発電の情報、併設太陽光発電システムの情報を表示します。

- ① 発電電力 (0.1kW以上) を数値表示します。
なお数値は目安です。
- ② 当日の積算発電量を数値表示します。
なお数値は目安です。
- ③ 太陽光発電システムの発電状態をアイコン表示します。






太陽光発電

アイコン表示	状態説明
	発電中 ・太陽がオレンジ色で表示されます ※発電電力が0.1kW以上の場合
	停止中もしくは太陽光発電がない場合 ・太陽がグレーで表示されます

■D. 売買電(連系時)／外部電源(停電時)

●連系運転の場合

- ① 電力会社に売った電力(売電)と、買った電力(買電)を数値表示します(最大20kW)。なお数値は目安です。
- ② 電力会社からの売買電状態をアイコン表示します。



アイコン表示	状態説明
	売電中
	買電中
	売電／買電なし



●自立運転の場合

自立運転時は外部電源の電力を利用しますので、その情報を表示します。

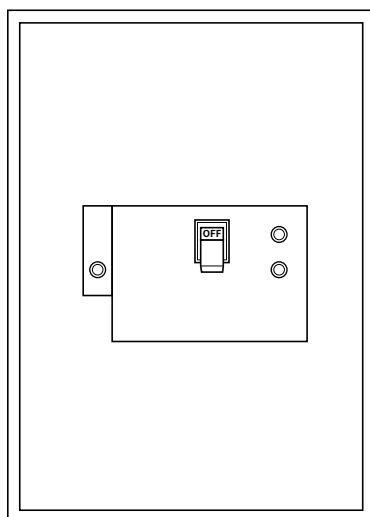
- ① 外部電源による電力の数値を表示します。なお数値は目安です。
- ② 外部電源の状態をアイコン表示します。

アイコン表示	状態説明
	発電中(外部電源から電力供給されている状態)
	停止中(外部電源から電力供給されていない状態)



お知らせ



- ・ 停電が発生していないときに「自立運転中」と表示される場合は、蓄電システム用漏電ブレーカが「OFF」になっている可能性があります。「OFF」になっている場合は「ON」にしてください。ご不明な点は、販売会社へご連絡ください。




■E. 電気の流れ

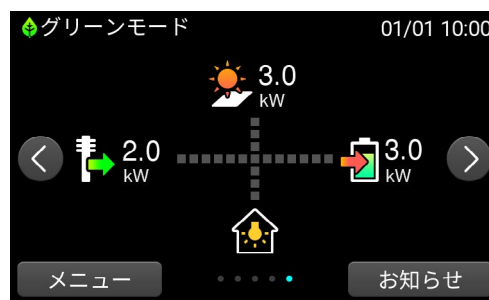
電力会社からの売買電・太陽光発電・屋内の消費・蓄電池間の電力の流れのイメージを、破線の動きと流れる方向で表示します。

●自立運転の場合

アイコン表示	状態説明
	屋内の消費あり ・消費電力が0.1kW以上の場合は電球が黄色で表示されます。
	屋内の消費あり ・消費電力が供給できる電力の上限に近づいている場合は電球が赤色で表示されます。

●連系運転の場合

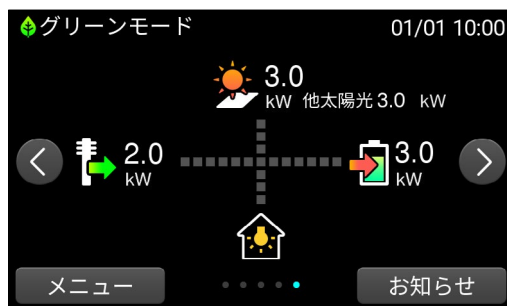
アイコン表示	状態説明
	屋内の消費あり



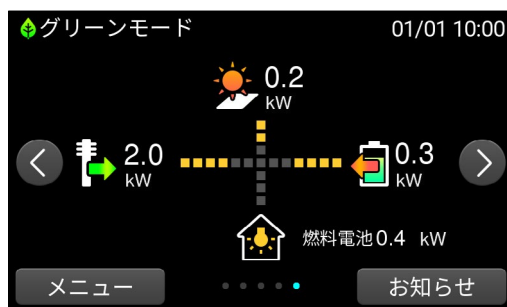
電気の流れ画面

お知らせ

- ・リモコンに表示される電力の値は誤差を含みます。精密な計測機器等の機器の値とは異なることがあります。
- ・電力が小さい（0.1kW未満）場合でも、誤差などにより、電力の流れが表示される場合があります。
- ・燃料電池や併設太陽光発電システムなどの発電装置が設置されている場合、電力の流れや値を正しく表示できない場合があります。
- ・自立運転時は、コンセントの消費分を放電電力として表示します。
- ・放電中でも買電する場合があります。（P.79）
- ・併設機器に太陽光発電システムがある場合は、画面に「他太陽光」の項目と発電電力が表示されます（最大20kW）。
- ・「他太陽光」が発電中の際は、太陽光発電のアイコンが発電中の表示になり、電気の流れが表示されます。



- ・併設機器に燃料電池がある場合は、画面に「燃料電池」の項目と発電量が表示されます。



- ・自立運転中に併設機器（燃料電池・太陽光発電システム）を利用している場合、本システムとの連携／非連携により「発電電力の表示」が異なります。

併設機器の状態	発電電力の表示
連携	○
非連携	○※

※燃料電池が自立出力している発電電力は計測できないため、0kW表示になります。

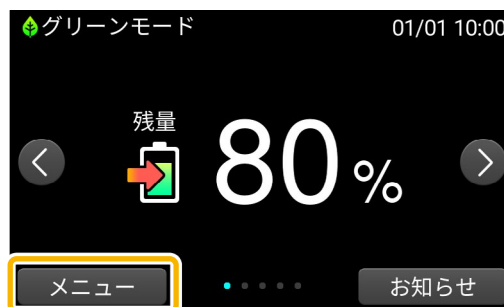
- ・消費電力がほとんどない状態で、画面中央から蓄電池ユニットへの流れの表示だけが表示されることがあります。これは燃料電池の発電電力を蓄電池が充電している状態のため、異常ではありません。
- ・燃料電池と太陽光発電システムの両方を併設している場合、リモコンに表示できるのは「他太陽光」または「燃料電池」のいずれか一つのみです。

メニューを利用する

本システムで利用できるメニューを表示します。利用できるメニューは、本システムでご利用中の機器構成により異なります。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする

・メニュー画面が表示されます。



■メニュー画面



設定	設定画面を表示します。	P.25
機器情報	機器情報画面を表示します。	P.77
運転停止／運転開始	運転を開始／停止します。	P.9、P.82
ガイド	リモコンの使いかたを説明する動画へリンクするQRコードを表示します。	—

設定項目一覧

本システムでは、次の設定を行うことができます。

運転モード	本システムの通常の動作を制御する「運転モード」を設定します。	P.61
充電時刻	充電の開始時刻・停止時刻を設定します。	P.64
放電時刻	放電の開始時刻・停止時刻を設定します。	
非常時運転モード	本システムの停電時の動作を制御する「非常時運転モード」を設定します。	P.33
非常時安心設定	停電時にコンセントが使えるように、通常時利用の蓄電池残量を指定のパーセントまでに制限する値を設定します。	P.36
現在日時	現在日時を設定します。	P.69
画面の明るさ	タッチパネルの明るさを設定します。	P.71
画面オフ時間	タッチパネルを操作していないときに、画面が消灯するまでの時間を設定します。	P.72
操作音	画面操作音を設定します。	P.73
アンペアブレーカ値	アンペアブレーカ値を設定します。(通常時は使用しません。)	P.74
買電充電量設定	充電時間帯に買電にて充電をする最大充電量を設定します。	P.66
停電時出力設定	停電時に利用する電力値を設定します。	P.37
外部電源電力設定	接続を予定している外部電源の電力値を設定します。	P.40
外部電源充電設定	接続した外部電源を利用して蓄電池に充電するかどうかを設定します。	P.39
外部電源入力設定	接続した外部電源の電力を利用するかどうかを設定します。	P.38
ネットワーク	ネットワークの状態を確認できます。(通常時は使用しません。)	P.75
レジリエンスモード	停電の可能性のある悪天候の予報(特別警報/警報)を受信したときに充電するかどうかを設定します。	P.42
設定リセット	設定をリセットします。お困りのときは「設定情報をリセットしたい」(P.80)よりご確認ください。	P.80

停電時の電気製品利用に関するご注意

停電時にパワーコンディショナから出力される電力の上限は「停電時出力設定」によります (P.37)。

電気の使い過ぎや使用中の電気製品の特性により、「停電時出力設定」の値を超える電気が消費されると内部の安全装置が作動し、リモコンにメッセージを表示して、屋内への給電を停止します。

下記の電気製品のコンセントへの接続は避ける、または注意してください。

生命にかかわる機器	接続禁止	医療機器など
途中で電源が切れると不具合を生じるおそれがある電気製品	接続禁止	デスクトップ型パソコンなど
灯油やガスを用いた暖房機器や電熱機器	接続禁止	石油ファンヒーター、ガスストーブなど
瞬間的に大電流を必要とする電気製品	動作しない場合がある	掃除機、遠赤外線ヒーター、冷蔵庫、エアコン、ポンプなど
消費電力が大きい電気製品	動作しない場合がある	電子レンジ、電気ストーブなど
周波数50Hz/60Hzを手動で切替えて使用する電気製品	動作しない場合がある	オーディオタイマーなど
「弱」設定などで半波整流負荷となる電気製品	動作しない場合がある	ドライヤー、電気ストーブなど

お知らせ

- 消費電力が大きい電気製品を利用する際には、動作させる前に、他の接続している電気製品を減らすなど、コンセントの定格出力および「停電時出力設定」の値を超えないように工夫してください。電気製品によっては、自動的に運転を開始するものがありますので、ご注意ください。
- もし、安全装置が作動してしまった場合は、リモコンのメッセージに従って、接続している電気製品の数を減らしてください。また電気製品を接続するコンセントや運転させる順序を変更することで動作する場合があります。
- 電源を入れたときの電流が大きく、消費電力も比較的大きい機器を接続すると一時的に大電流が流れ、本システムの電力供給能力を超えることがあります。電力供給能力を超えると、電気製品が停止したり、本システムの安全装置が作動し、屋内への給電を停止する場合があります。

停電時に使用する電気製品の設置例 (11.4kWh の場合)

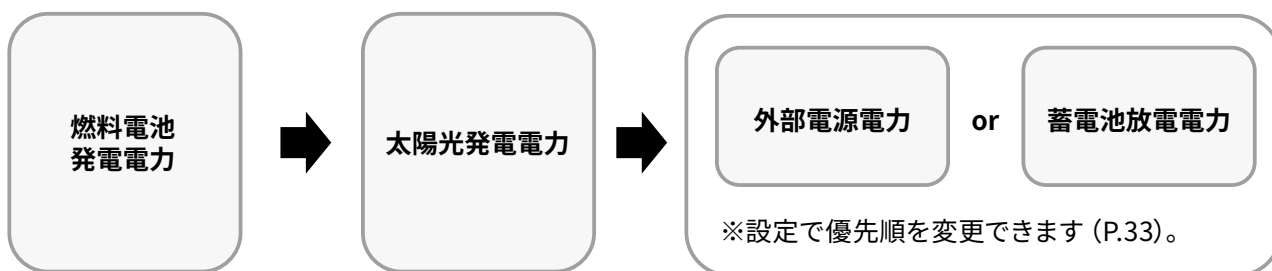
満充電の場合、停電時に冷蔵庫、テレビ、携帯電話、ノートパソコン、LED照明など、必要最低限の電気製品(計約430W)を約21時間*動かすことができます。



* おおよその目安です。実際のご利用では蓄電池の充電量、使用環境で変わります。

停電時の使用電力の優先順位

使用できる電力の種類は、「燃料電池発電電力」、「太陽光発電電力」、「外部電源電力」、「蓄電池放電電力」の4つです。下記の優先順で電力が自動的に使用されます。



お知らせ

- ・燃料電池が設置されている場合は、燃料電池の電力を最も優先して使用します。
- ・外部電源電力は、マルチ拡張ユニットを設置し、さらにEXボックスまたは太陽光パワーコンディショナの自立出力が接続されているときに利用できる電力です。

停電時の燃料電池の使用について

停電時、燃料電池は本製品の自立出力により連系運転で動作し、発電電力を屋内へ出力します。またオプション製品をご使用の場合、余剰電力があれば蓄電池へ充電します。お客様のシステム構成によって、動作が異なる場合があります。

お知らせ

- ・停電後、燃料電池の電力供給開始までにしばらく時間がかかる場合があります。10分ほどお待ちいただき燃料電池のリモコン画面を確認してください。
- ・停電時、燃料電池は連系運転で動作中のため、停電時専用コンセントへは出力しません。
- ・停電中、燃料電池が発電を停止した場合、蓄電池残量によっては燃料電池が再起動できない場合があります。

停電時の併設太陽光発電システムの使用 について

蓄電池のみ

「蓄電池＋併設太陽光発電システム」の組み合わせ時、停電すると併設太陽光発電システムは本製品の自立出力により連系運転で動作し、発電電力を屋内へ供給し、余剰電力があれば蓄電池へ充電します。

※お客様のシステム構成によって、動作が異なる場合があります。

お知らせ

- 蓄電池の最大充電電力は蓄電池ユニットの台数によって異なります。1台の場合は3.0kVA、2台・3台の場合は4.5kVAとなります。
- 併設太陽光発電システム利用中、「周波数異常」と「電圧異常」に関するエラーが表示されることがありますが不具合ではありません。

■本システムの動作について

- 併設太陽光発電システムの発電電力が過多となった場合、システム保護のため本システムは数秒程度の間、停止します。本システムは運転を停止する可能性がありますが、数秒程度で再起動します。
- 日射急変や負荷急変（雲などの影による急激な発電の変化、電気製品のON / OFFによる電気消費の急激な変化）で本システムは運転を停止する可能性がありますが、数秒程度で再起動します。
- 「蓄電池ユニット＋併設太陽光発電システム」の組み合わせ時、停電中に蓄電池の電力を使用して一定の蓄電池残量まで減ると、蓄電池ユニットの電力供給が停止します。停止したときの対処方法については「併設太陽光発電システムで発電できる場合」（P.55）をご参照ください。

■併設太陽光発電システムの動作について

- 併設太陽光発電システムは発電電力が過多になり、「蓄電池の最大充電電力」を超えると一時停止し、再起動します。
- 蓄電池残量が90%に到達すると併設太陽光発電システムが一時停止し、再起動します。
- 併設太陽光発電システムが停止と再起動を繰り返す場合は、屋内の消費電力を増やしてください。

■電気製品の使用について

- 本システムは併設太陽光発電システムを制御する際、一時的に電圧を下げる場合があります。そのため、電圧不足により一部の電気製品が停止する場合があります。本システムが正常に動作していても発生する可能性があるためご注意ください。

停電時は「停電時の電気製品利用に関するご注意」（P.26）を十分に確認のうえ、電気製品をご使用ください。

Enerezza® Plus IIの停電時の動作を知りたい (非常時運転モードについて)

本システムは非常時運転モードを設定することで、停電時の使いかたを設定することができます (P.33)。お客様のシステム構成をご確認いただき、下記のページをご参照ください。

- 太陽光発電+蓄電池ユニット→ P.29
- 蓄電池ユニットのみ→ P.31
- 太陽光発電のみ→ P.32

また次の条件により項目が異なる場合があります。

- ・ソフトウェアのバージョン
- ・お客様のシステム構成
- ・ご契約内容

お知らせ

- ・停電中は「非常時安心設定」 (P.36) の設定にかかわらず、蓄電池残量は0%まで使用されます。ただし、設定した非常時運転モードにより、電力を使用する機器の優先度と、蓄電池残量の減り方が変わります。

「太陽光発電+蓄電池ユニット」のときに使用できる 非常時運転モードについて

太陽光+蓄電池

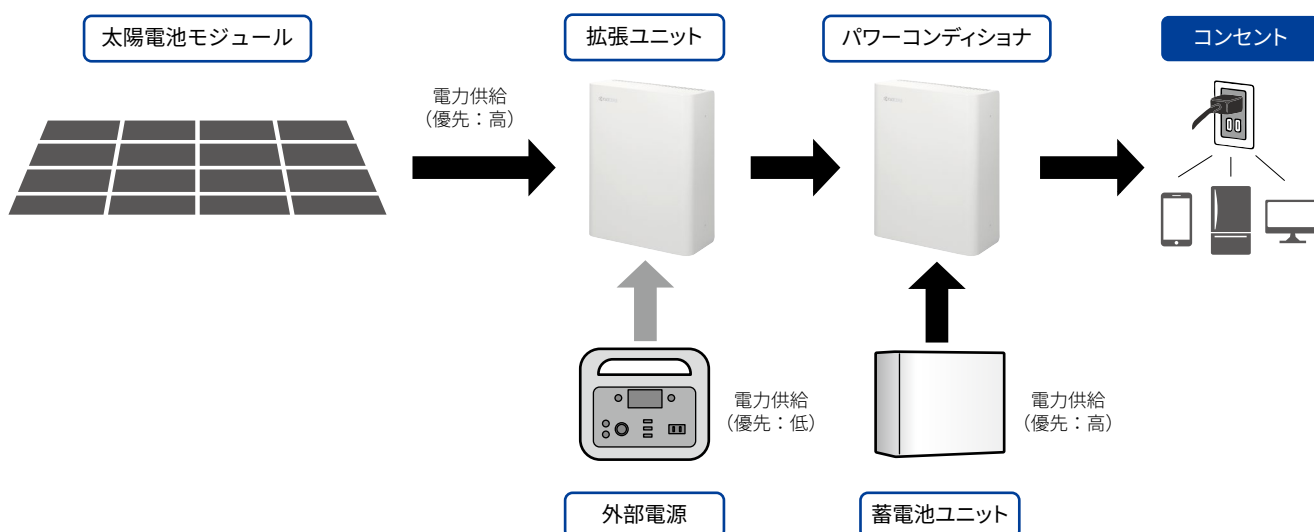
本システムで「太陽光発電」と「蓄電池ユニット」を利用する構成での、停電時の動作については次の内容をご参照ください。

※蓄電池ユニットの台数によって充放電電力が異なります。(P.93)

■電池放電優先モード

こんな使いかた➡ 停電時、太陽光発電と蓄電池ユニットの電力を優先したい

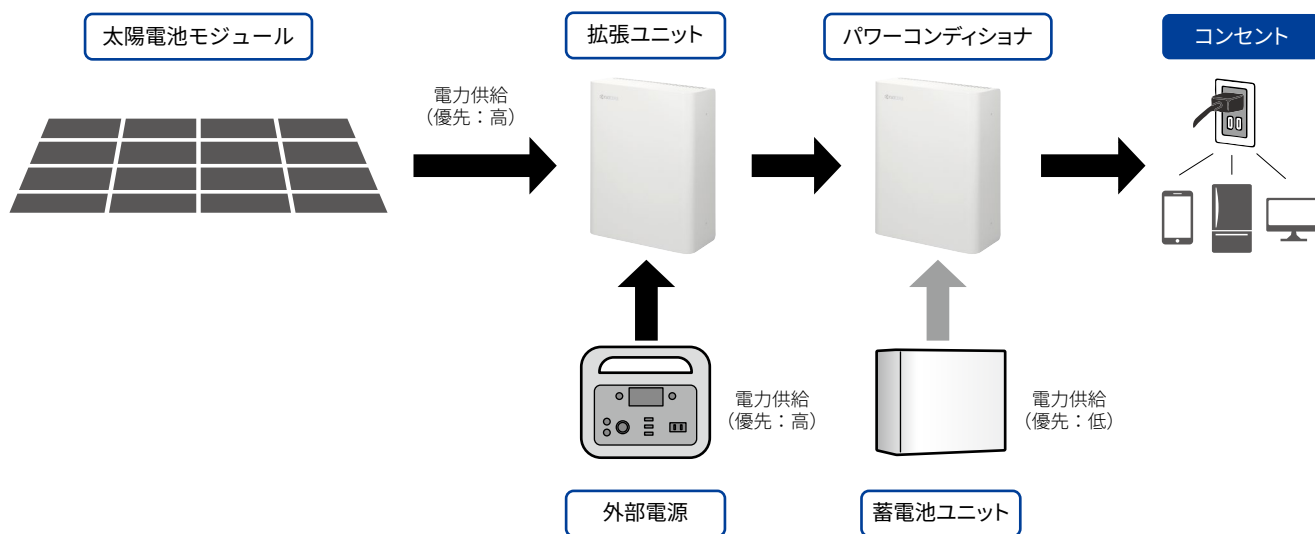
太陽光発電と蓄電池ユニットの電力を優先して使用し、電力が不足したときは外部電源からの放電を行います。



■外部電源優先モード

こんな使いかた➡ 停電時、太陽光発電と外部電源の電力を優先したい

太陽光発電と外部電源の電力を優先して使用し、電力が不足したときは蓄電池ユニットからの放電を行います。



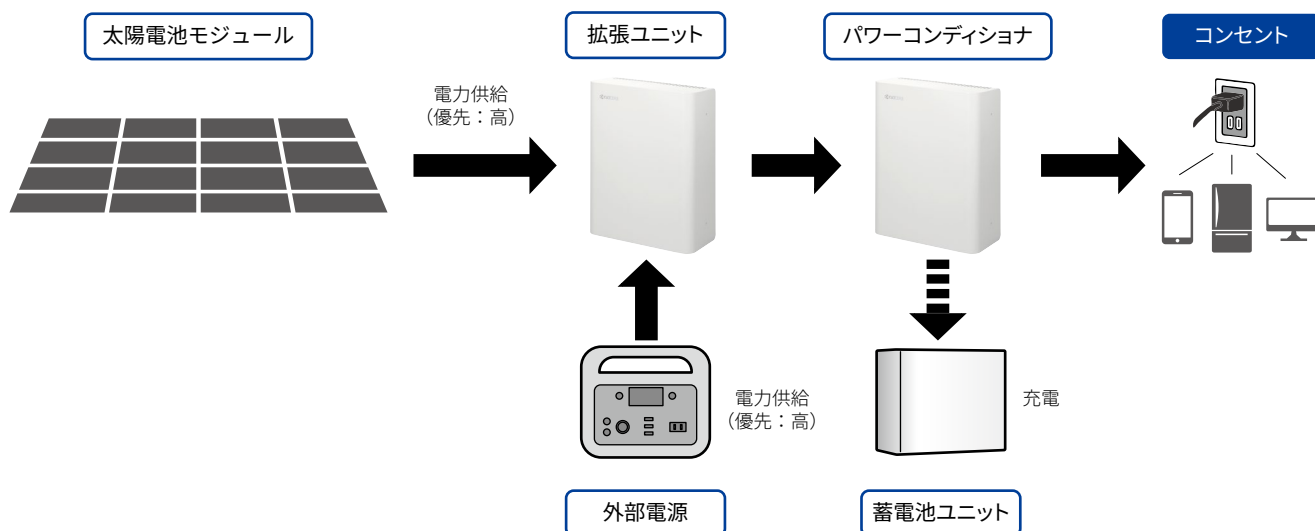
お知らせ

- 外部電源が使用可能で「外部電源優先モード」中は、外部電源から電力を供給されている間は蓄電池からの電力供給は少なくなるため、蓄電池残量が減る速度は緩やかになります。一方で、外部電源が使用できない場合は「電池放電優先モード」と同じ動作となり、蓄電池残量の減る速度に変化はありません。

■電池放電禁止モード

こんな使いかた➡ 停電時、蓄電池ユニットに充電のみ行いたい

太陽光発電の電力と外部電源の電力を使用します。電力が余った場合は蓄電池を充電します。



お知らせ

- 消費電力が多い場合、本製品から供給される電力が不足しやすいため、停電状態になりやすくなるのでご注意ください。

「蓄電池ユニットのみ」のときに使用できる非常時運転モードについて

蓄電池のみ

本システムで「蓄電池ユニット」を利用する構成での、停電時の動作については次の内容をご参照ください。
 ※蓄電池ユニットの台数によって充放電電力が異なります。(P.93)
 ※太陽光発電システムが併設されている場合の動作は、「停電時の併設太陽光発電システムの使用について」(P.28)を参照してください。

■電池放電優先モード／外部電源優先モード

こんな使いかた→ 停電時、蓄電池の電力を優先したい

蓄電池の電力を優先して電力供給を行います。



お知らせ

- 電池放電優先モードと外部電源優先モードは、どちらを設定しても同じ動作をします。

■電池放電禁止モード

こんな使いかた→ 停電時、蓄電池の電力を使わない

蓄電池からの放電を行わないモードです。太陽光発電システムが併設されている場合は、その電力を使用して屋内への供給を行います。



お知らせ

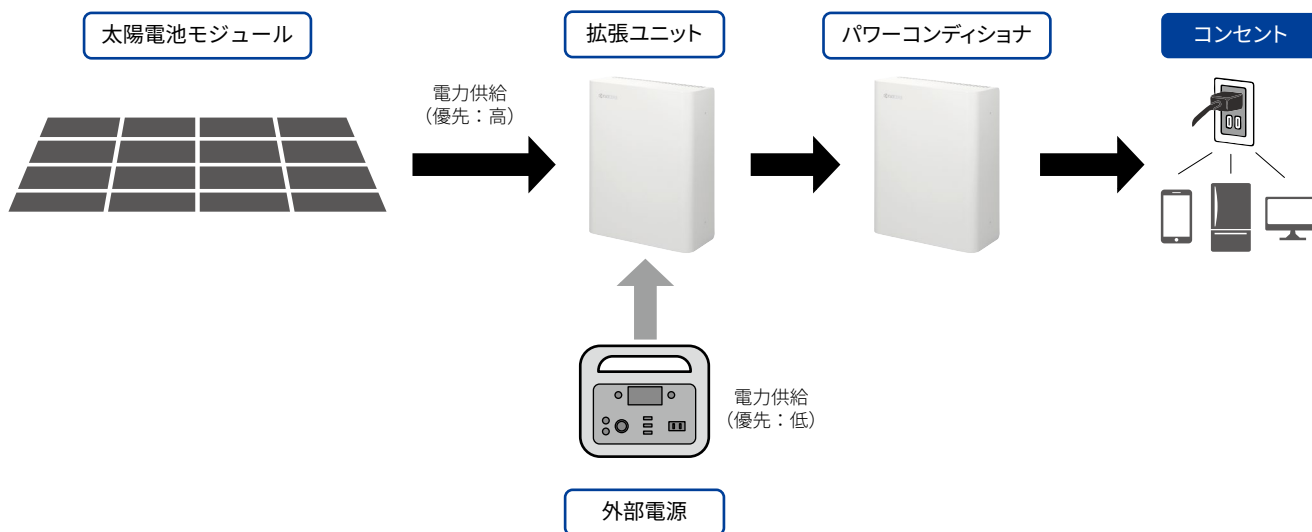
- 太陽光発電システムが併設されていない場合は、放電されないため停電状態になります。

「太陽光発電のみ」のときの停電時の動作について

太陽光のみ

本システムで「太陽光発電」を利用する構成での、停電時の動作については次の内容をご参照ください。

こんな使いかた→ 停電時、太陽光発電の電力を利用したい



お知らせ

- ・システム型式がPVS-592E (-H) の場合は外部電源を使用できます。PVS-592 (-H) の場合は外部電源を使用できません。

停電時の使いかたに合わせて準備をする

非常時運転モードを設定することで、本システムの停電時の動作を設定することができます。

お客様のシステム構成をご確認いただき、下記のページをご参照ください。

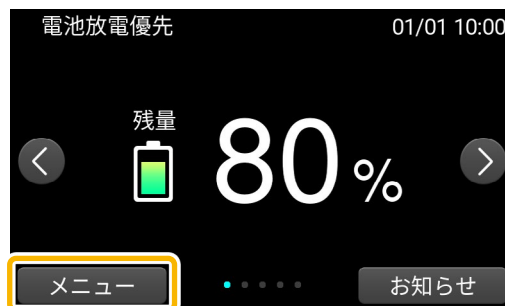
- 太陽光発電+蓄電池ユニット→ P.33
- 蓄電池ユニットのみ→ P.34
- 太陽光発電のみ→ P.35

「太陽光発電+蓄電池ユニット」での設定をする

太陽光+蓄電池

本システムで「太陽光発電」と「蓄電池ユニット」を利用する構成での、非常時運転モードの設定方法は次のとおりです。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする

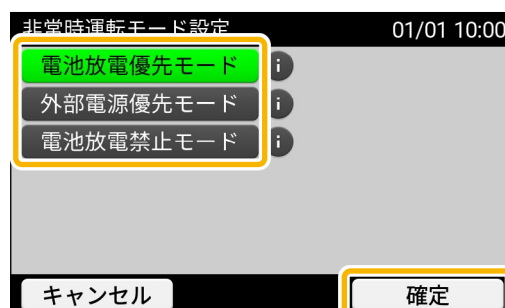


3 「非常時運転モード」をタッチする



4 項目をタッチして選択したあと、「確定」をタッチする

- ・**i**をタッチすると非常時運転モードの説明が表示されます。



■カスタマイズするには

カスタマイズするには次のページをご参照ください。

→「停電時に使用できる電力量を確保する」へ

P.36

→「停電時に出力可能な電力を設定する」へ

P.37

→「外部電源を利用するためにリモコンを設定する」へ

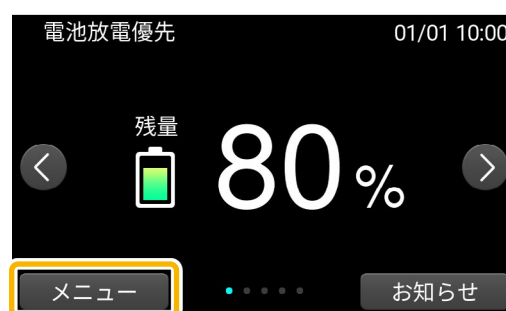
P.38

「蓄電池ユニットのみ」での設定をする

蓄電池のみ

本システムで「蓄電池ユニット」を利用する構成での、非常時運転モードの設定方法は次のとおりです。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする

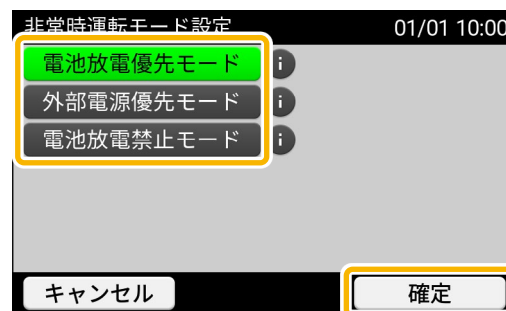


3 「非常時運転モード」をタッチする



4 項目をタッチして選択したあと、「確定」をタッチする

- ・ **i** をタッチすると非常時運転モードの説明が表示されます。



■カスタマイズするには

カスタマイズするには次のページをご参照ください。

→ 「停電時に使用できる電力量を確保する」へ

P.36

→ 「停電時に出力可能な電力を設定する」へ

P.37

「太陽光発電のみ」での設定をする

太陽光のみ

太陽光発電のみの利用の場合は、停電時の設定はできません。停電時は運転の開始／停止のみ行えます。開始／停止の操作は「システムを停止／開始する」(P.82)と同じ操作になります。

■カスタマイズするには

カスタマイズするには次のページをご参照ください。

→ 「停電時に出力可能な電力を設定する」へ

P.37

→ 「外部電源を利用するためにリモコンを設定する」へ

P.38

停電に備えて本システムの設定をカスタマイズする

自立運転の基本的な設定を変更して、本システムの動作をカスタマイズすることができます。

停電時に使用できる電力量を確保する

太陽光+蓄電池

蓄電池のみ

停電時にコンセントが使えるように、通常時利用の蓄電池残量を指定のパーセントまでに制限する設定です。蓄電池残量が指定のパーセントを下回ると放電を停止します。

お知らせ

- ・停電時には「非常時安心設定」で設定したパーセントに関係なく、0%まで使用できます。
- ・設定した非常時運転モードの設定により、蓄電池電力の使われ方が異なります。電池残量が減りやすい順に「電池放電優先モード」→「外部電源優先モード」→「電池放電禁止モード」となります。
- ・本システムで「蓄電池ユニット」を利用する構成で、太陽光発電システムが併設されている場合は蓄電池残量を残して放電を停止する場合があります (P.28)。

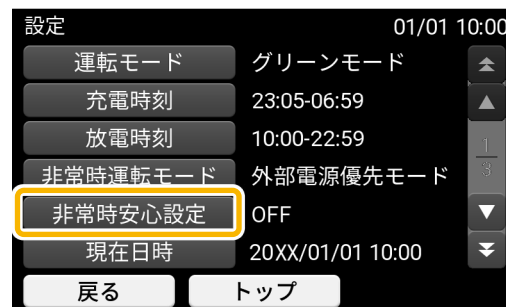
1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする



3 「非常時安心設定」をタッチする



4

▲▼で数値を入力したあと、「確定」をタッチする

- ・10%単位で設定できます。
- ・停電などの非常時にも蓄電池の電力をご利用いただくためには、「非常時安心設定」を30%以上に設定することを推奨しています。
- ・実際の蓄電池残量は自然放電や温度変化の影響などにより、「非常時安心設定」の設定と若干の差を生じることがあります。
- ・「非常時安心設定」は通常時利用の蓄電池残量を指定のパーセントまでに制限する設定です。停電時は蓄電池残量の制限はされません。

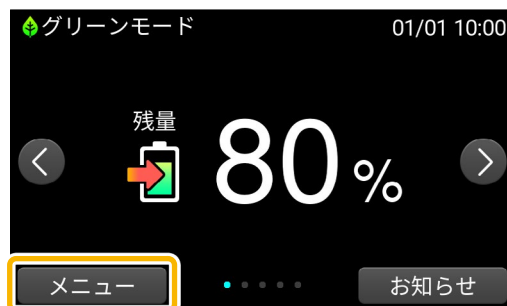


停電時に出力可能な電力を設定する

停電時に出力可能な電力を事前に設定しておきます。

1

トップ画面で「メニュー」をタッチする



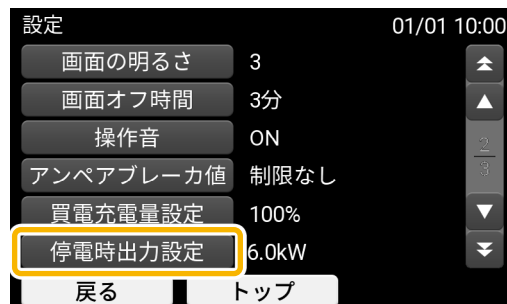
2

「設定」をタッチする



3

「停電時出力設定」をタッチする



4 項目をタッチして選択したあと、「確定」をタッチする

・設定できる出力値は最大で6.0kWです。



外部電源を利用するためにリモコンを設定する

EXボックスを設置されている場合、外部電源の電力を屋内に引込み利用できます。停電時に外部電源を利用することで、電気を利用することができます。

外部電源を利用するためには事前にリモコンを設定しておく必要があります。

操作	ページ
①「外部電源入力設定」を設定	→P.38
②「外部電源充電設定」を設定	→P.39
③「外部電源電力設定」を設定	→P.40
④リモコン画面の確認	→P.41

①外部電源入力を設定する

接続した外部電源の電力を利用するかどうかを設定します。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする

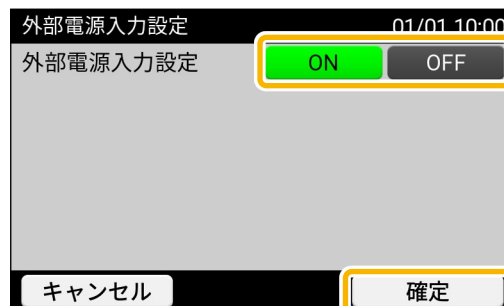


3 「外部電源入力設定」をタッチする



4 項目をタッチして選択したあと、「確定」をタッチする

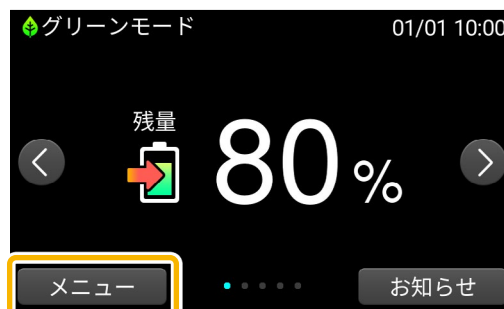
・外部電源を利用するときは「ON」を選択してください。



②外部電源充電を設定する

接続した外部電源を利用して本システムの蓄電池を充電するかどうかを設定します。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする

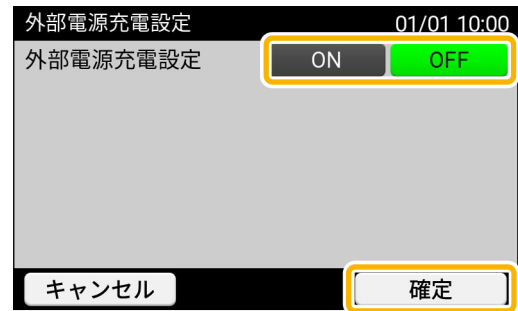


3 「外部電源充電設定」をタッチする



4 項目をタッチして選択したあと、「確定」をタッチする

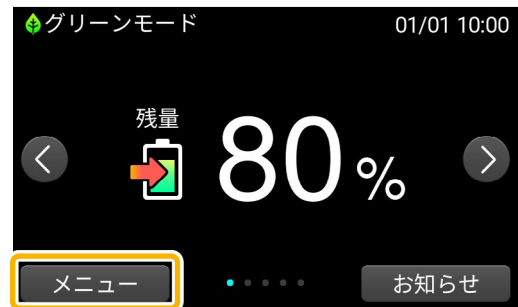
・外部電源の電力を蓄電池に充電するときは「ON」を選択してください。



③外部電源電力を設定する

接続を予定している外部電源の電力値を設定します。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする



3 「外部電源電力設定」をタッチする



4

▲▼で数値を入力したあと、「確定」をタッチする

- 0.1kW単位で設定できます。
- 設定できる数値は最大で1.50kWです。
- 接続予定の外部電源より少し小さい値を設定します。
例えば、定格出力1.0kWの外部電源を接続予定の場合、0.9kW程度に設定します。
- 外部電源として太陽光パワーコンディショナの自立出力を使用する場合は、自立出力の電力に合わせて設定してください。
太陽光パワーコンディショナに接続されている太陽電池が1.2kW未満の場合は0.50kW、1.8kW未満の場合は1.00kWの設定を推奨します。



注意事項

- 外部電源が出力できる以上の電力値を設定すると、エラーが表示されます。エラーが表示された場合は、外部電源が出力できる電力値をご確認のうえ、再設定をしてください。
- 外部電源が停止したときは、リモコンにエラーが表示されていなくてもリモコンの設定値を見直してください。見直し時は「外部電源電力設定」の設定値を小さめにしてください。

④ リモコン画面の確認

1

トップ画面で「<」をタッチする

- 電気の流れ画面が表示されます。
停電時に外部電源から電力が供給されているかご確認ください。供給されていない場合は設定を見直してください。
外部電源から電力が供給されているか確認するには停電状態にする必要があります。停電状態にする場合、事前に通電されている機器の使用状況をご確認ください。
- 配線などによりロスが生じるため、リモコンに表示される電力値は外部電源が供給する電力値と異なる場合があります。



警報受信時に強制的に蓄電池に充電するように設定する

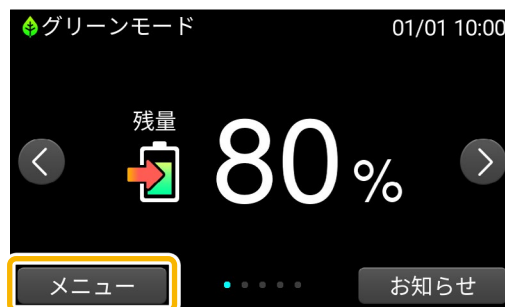
太陽光+蓄電池

蓄電池のみ

停電の可能性のある悪天候の予報（特別警報 / 警報）を受信したときに充電を行う「レジリエンスモード」を利用できます。

レジリエンスモードに切り替わると、リモコン画面に「レジリエンス」と表示されます。

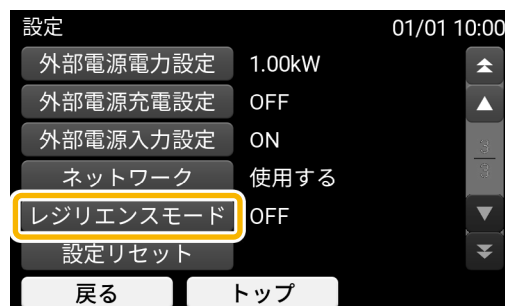
1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



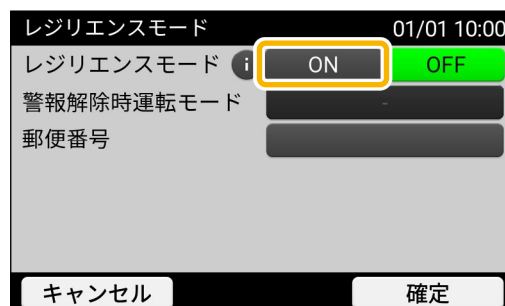
2 「設定」をタッチする



3 「レジリエンスモード」をタッチする



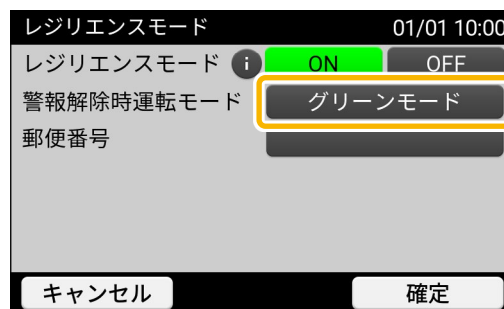
4 「ON」をタッチする



5

レジリエンスモード画面で[警報解除時 運転モード]の項目をタッチする

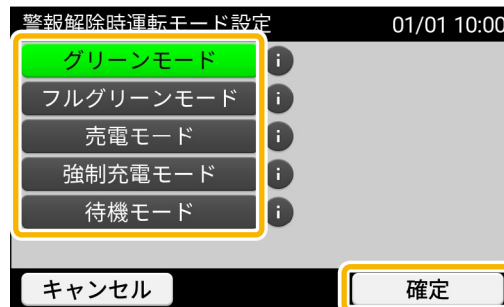
・警報解除時に蓄電残量を温存させたい場合は、強制充電モードや待機モードに設定することをおすすめします。



6

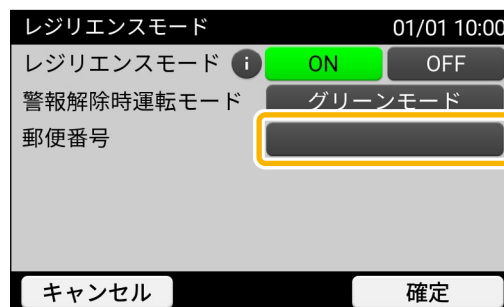
項目をタッチして選択したあと、「確定」 をタッチする

・**i**をタッチすると運転モードの説明が表示されます。



7

レジリエンスモード画面で[郵便番号] の項目をタッチする



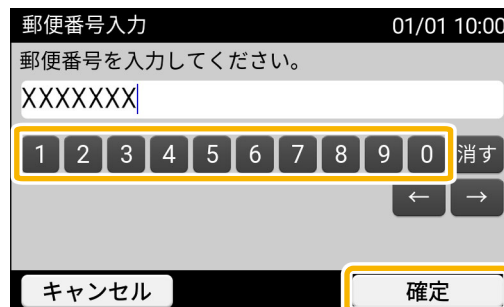
8

郵便番号を入力したあと、「確定」をタッ チする

・ハイフンは不要です。

注意事項

・お住いの郵便番号を入力してください。誤った郵便番号を設定すると正常に動作しません。

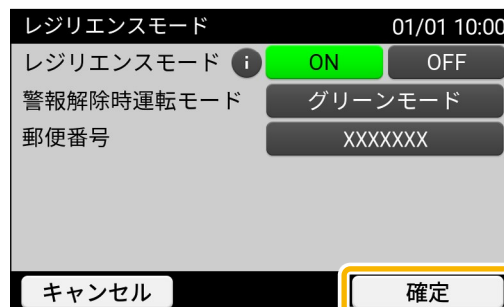


9

「確定」をタッチする

注意事項

・レジリエンスモードを使用するには、サーバーから気象警報を受信できる環境が必要です。サーバーとの通信状態の確認は、「ネットワークの通信状態を確認する」(P.75)の手順にてご確認ください。



注意事項

- ・ 警報発報時に通信不具合が発生している場合 (BC562、BC563のエラーがお知らせ画面に表示されている場合)、警報を受信することができず、レジリエンスモードに自動移行することができません。この場合は気象状況に応じて任意の運転モードに設定し、停電に備えてください。
- ・ 警報解除時に通信不具合が発生した場合、通信状態が改善するまで自動で「警報解除時運転モード」に移行しません。この場合は、任意の運転モードに設定することでレジリエンスモードから復帰します。
- ・ レジリエンスモードは気象庁の警報を受信して動作する機能です。地震には対応していません。
- ・ レジリエンスモード中に次の操作を行うと「警報解除時運転モード」に切り替わります。
 - 「レジリエンスモード」をOFFにする
 - リモコン本体の電源スイッチを「OFF」にする (次回電源ON時に運転モードが切り替わります)
- ・ 遠隔制御の契約をしている場合は、レジリエンスモードを設定できないか、設定できてもレジリエンスモードに切り替わらない場合があります。レジリエンスモードを利用する場合は契約内容を販売会社にご確認ください。
- ・ 気象庁からの警報が発表、または解除された地域に設置された本システムに対して順次レジリエンスモードによって運転モードを変更します。警報が広範囲に発表・解除された場合など、レジリエンスモードによる充電または充電の停止まで時間がかかることがあります。
気象状況に応じて運転モードを確認もしくは設定してください。
- ・ 郵便番号を設定してからレジリエンスモードが使えるようになるまでには時間がかかります。郵便番号を設定直後は警報が発表されてもレジリエンスモードによる充電が開始されないことがあります。
- ・ 本システムを設置している場所の郵便番号が新規追加もしくは変更された場合は、レジリエンスモードが使えるまで1か月以上かかることがあります。
- ・ レジリエンスモードは設定された郵便番号を元に最寄りの観測点における警報に対して動作します。そのため設定された郵便番号の市区町村とは異なる市区町村に発表された警報で動作する場合があります。
- ・ レジリエンスモードサービスの中断・変更・終了について

■本サービスの中断

- (1) 当社は、本サービスの安定的な運用のために、データサーバの保守、点検または工事を行う場合や、その他運用上あるいは技術上やむを得ない事情が発生した場合、一時的に本サービスの全部または一部の提供を停止することがあります。この場合、当社は事前に公開するものといたしますが、緊急または、やむを得ない場合はこの限りではありません。
- (2) 当社は、本サービスの全部または一部の提供を一時的に停止したことによりお客様に生じた損害について、一切責任を負わないものとします。

■本サービスの内容の変更または終了

- (1) 当社は、当社の都合により、事前に公開することなく本サービスの内容の全部または一部を変更し、または提供を終了することができます。
- (2) 当社は、かかる本サービスの内容の変更または提供の停止に基づきお客様に生じた損害について一切責任を負いません。

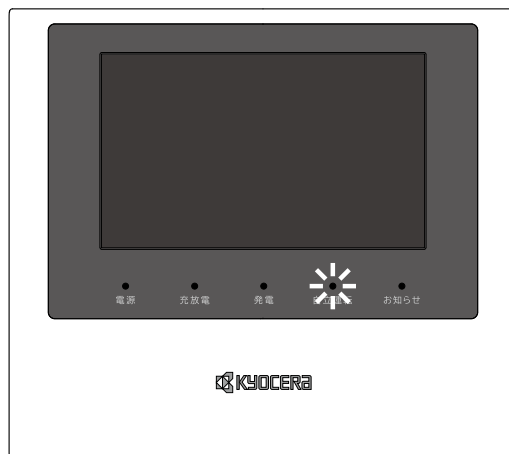
お知らせ

- ・ レジリエンスモードの対象の警報は次のとおりです。
 - 大雨特別警報
 - 大雪特別警報
 - 暴風特別警報
 - 暴風雪特別警報
 - 大雨警報
 - 洪水警報
 - 大雪警報
 - 暴風警報
 - 暴風雪警報
- ※非対象：雷などの気象注意報、緊急地震速報
- ・ 警報が解除されると、自動的にレジリエンスモード画面で設定した「警報解除時運転モード」に切り替わります。警報が解除されてから時間が経っていない場合は蓄電残量が十分でない可能性があります。その際は強制充電モードや、待機モードに設定しておくなど必要に応じて目的の運転モードに切り替えることをおすすめします。

停電発生時の操作

停電を検知すると約 15 秒後に自動で自立運転に切り替わり、太陽光発電や蓄電池ユニットからの電力を屋内に給電します。また、自立運転ランプが緑に点滅します。

本システムでの特別な操作は必要ありません。

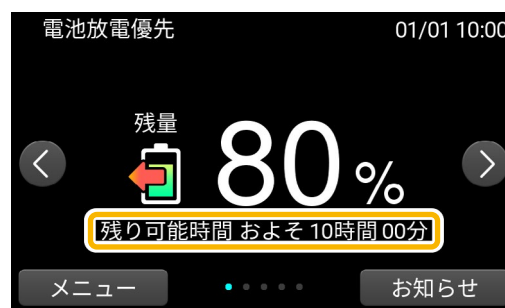
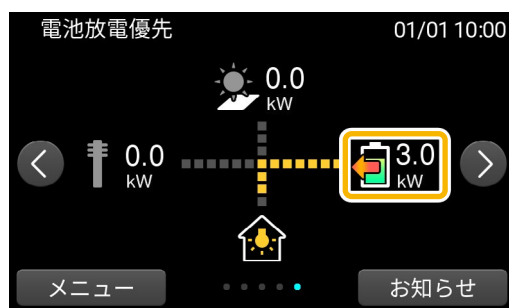


注意事項

- 自立運転中に本システムを運転停止させないでください。一度、運転を停止すると、太陽光発電電力か外部電源から電力供給が開始されるか、停電が解消されるまでは運転を再開することができません。以下の操作で本システムは運転停止となりますので、ご注意ください。
 - リモコン本体の電源スイッチを「OFF」にする

お知らせ

- 自立運転時に蓄電池から放電している場合、現在の放電電力から運転継続時間の目安を10分単位で表示します。この表示される値を目安として電気製品をご利用ください。



- 運転継続時間はおおよその目安です。使用環境や使用される電気製品により表示されている時間と実際の運転時間に差が生じる場合があります。
- コンセントの消費電力が小さい（0.1kW未満）場合、運転継続時間は表示されません。
- 併設太陽光発電システム・燃料電池と連携している場合、リモコンに燃料電池の消費電力が正しく表示されないことがあります。異常ではありません。

停電時に外部電源を利用する（オプション）

停電発生時に外部電源機器を本システムと接続することで、電力供給や、蓄電池への充電に利用することができます。外部電源を利用するにはEXボックスを設置する必要があります。

また、外部電源を利用するには、あらかじめリモコンで外部電源を利用するための設定をしておいてください（P.38）。

注意事項

- ・ 停電時、ご利用になっているシステムの条件により、リモコンの操作ができない場合があります。事前にリモコンを設定しておくことをおすすめします（P.33）。

お知らせ

- ・ EXボックスはオプション機器です。EXボックスを新たに設置する場合は、販売会社にご連絡ください。EXボックスを設置するには、現在設置されている機器により対応方法が異なります。
 - マルチ拡張ユニット利用中
EXボックスを新たに設置することができます。
 - ハイブリッド拡張ユニット利用中、または拡張ユニット未設置
マルチ拡張ユニットを設置することで、EXボックスを新たに設置することができます。

外部電源の準備をする

外部電源を利用するには次の機器を用意する必要があります。各機器の準備ができましたら、本システムと接続して電力供給を行います。

機器名	設置・保管場所
EXボックス	
EXケーブル	
外部電源	

お知らせ

- ・ 各機器の設置・保管場所の記入欄をご用意いたしましたので、万が一に備えてご記入ください。

外部電源で電力供給する

外部電源を利用するには、あらかじめリモコンで準備を行います（P.38）。次に外部電源を用意し、EXボックスのケーブルと接続することで利用できます。

AC100V（AC200W-1500W）出力用コンセントがあるさまざまな外部電源を利用でき、主な外部電源は次のものがあります。

- ・ハイブリッド車
- ・EV
- ・ポータブルバッテリー
- ・ガソリン発電機
- ・ガスボンベ発電機

注意事項

- ・濡れた手で配線をしないでください。感電のおそれがあります。
- ・使用中はフロントカバーを閉じて使用してください。フロントカバーを開けたまま使用すると、感電・火災・故障のおそれがあります。

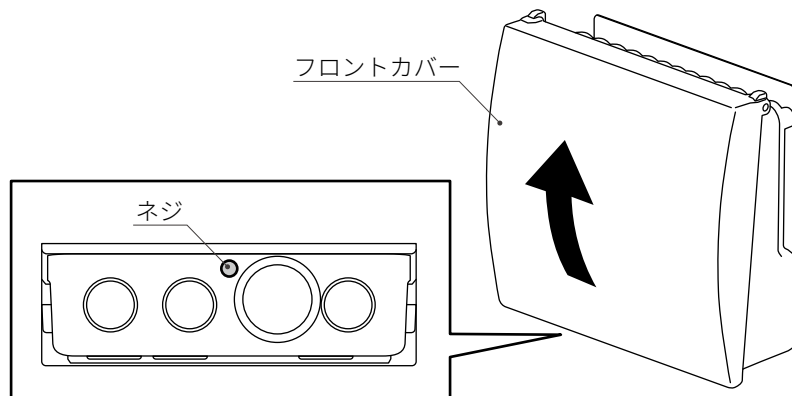
お知らせ

- ・利用できる外部電源は、AC100V（AC200W-1500W）出力の製品のみです。外部電源に使用する機器の仕様によっては利用できない場合があります。
- ・外部電源やEXケーブルに雨が直接当たらない場所を用意してください。
- ・EXケーブルは大切に保管してください。保管するときは次のことを守ってください。
 - 箱に入れ、高温高湿の場所は避ける。
 - 箱がつぶれがないように室内で保管する。
- ・EXボックスのフロントカバーは、停電時に外部電源を接続するとき以外は開けないでください。また、EXボックスを使わないときはしっかりネジを締めてください。
- ・EXボックスに破損が見つかった場合は、すみやかに販売会社へご連絡ください。EXボックスに水が入ると感電・火災の危険があります。EXボックス内に水が入っているときは使用を中止し、すみやかに販売会社にご連絡ください。
- ・接地工事を必要とする外部電源をEXボックスに接続する場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

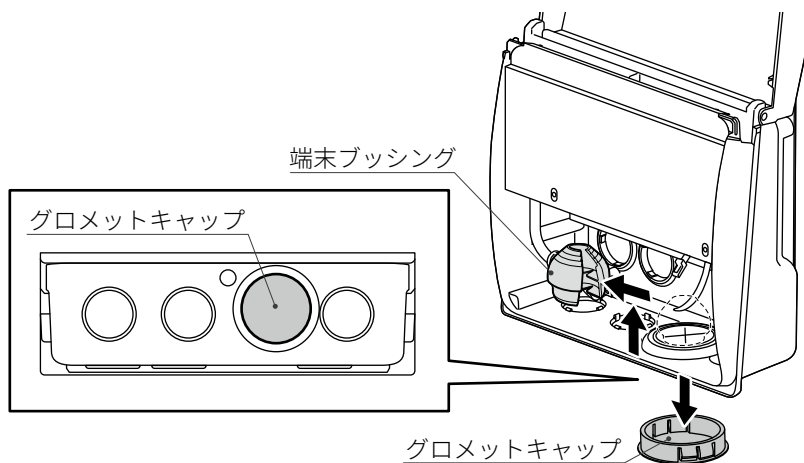
1 外部電源をEXボックスの近くに設置する

- ・外部電源は配線が完了するまで起動しないでください。

2 EXボックスのネジをゆるめ、フロントカバーを開ける

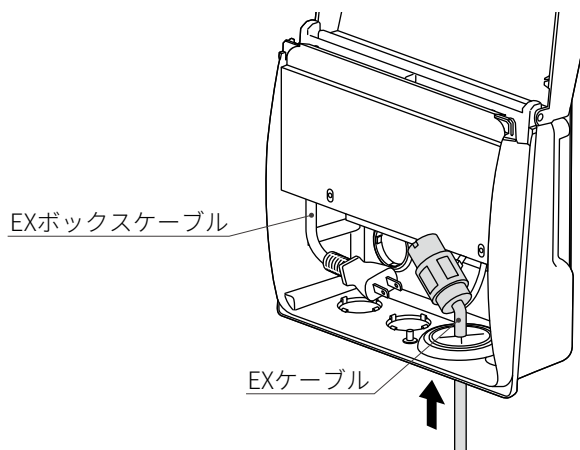


3 EXボックスのグロメットキャップと端末ブッシングを取外す



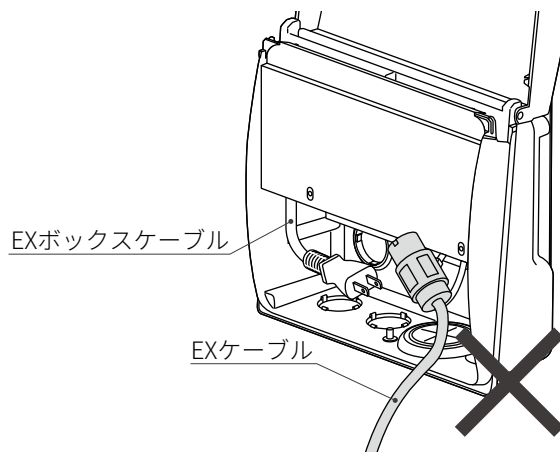
4 グロメットを通して、EXケーブルをEXボックスに引込む

・EXケーブルは、2mまたは10mのケーブルを利用できます。

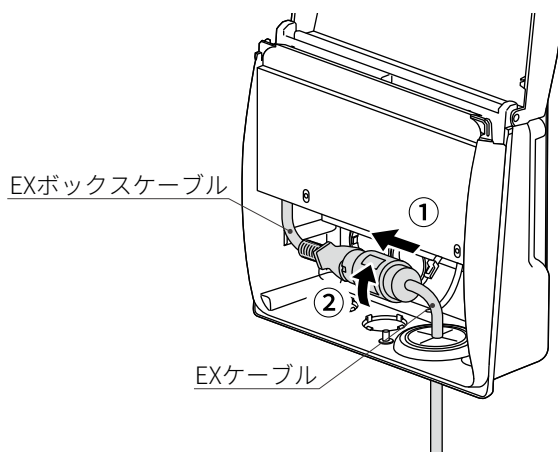


注意事項

・必ずグロメットからケーブルを引出してください。下図のようなケーブルの引出し方はしないでください。感電・火災・故障のおそれがあります。

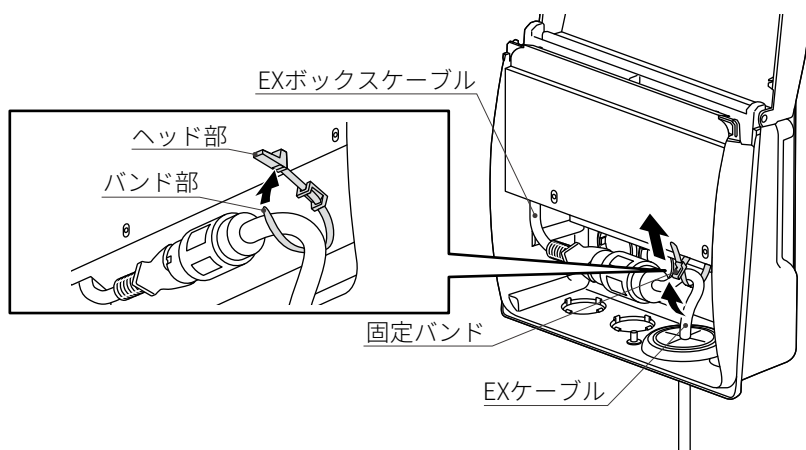


5 EXボックスケーブルにEXケーブルを接続し(①)、矢印の方向に回転して固定する(②)

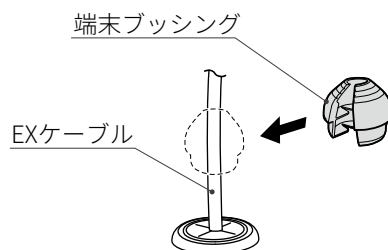


6 固定バンドでEXケーブルを固定する

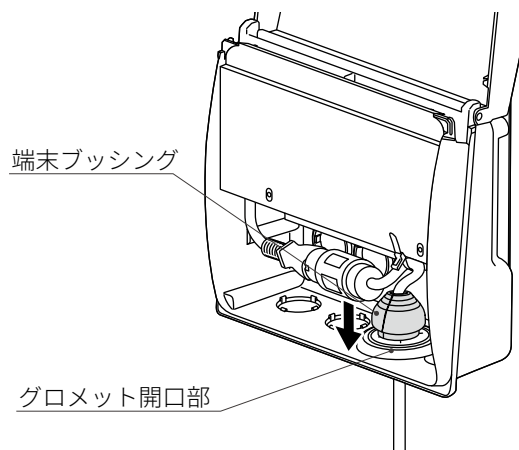
- EXケーブルを固定したら、固定バンドを回転させてバンド部の位置を調整してください。
- KYO-EXB02の場合はこの手順操作は不要です。



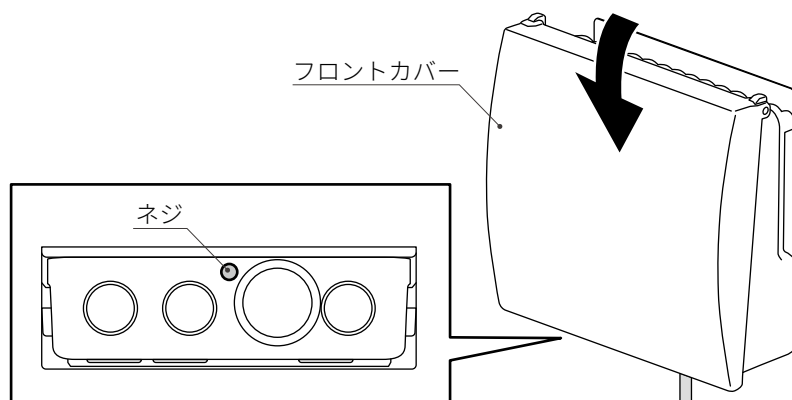
7 EXケーブルに端末ブッシングを取付ける



8 グロメット開口部に端末ブッシングを差込む



9 フロントカバーを閉め、ネジで固定する



10 EXケーブルを外部電源に接続する

注意事項

- ・ EXボックスケーブル、EXケーブルは宅内のコンセントに接続しないでください。蓄電池の不要な放電、電力消費が起こる可能性があります。

11 外部電源を起動する

注意事項

- ・ リモコンの設定が、外部電源を利用する設定になっているかご確認ください（P.38）。

お知らせ

- ・ 外部電源の起動方法については外部電源の取扱説明書をご参照ください。

停電復帰時の操作

停電から復帰したときに、本システムでの特別な操作は必要ありません。

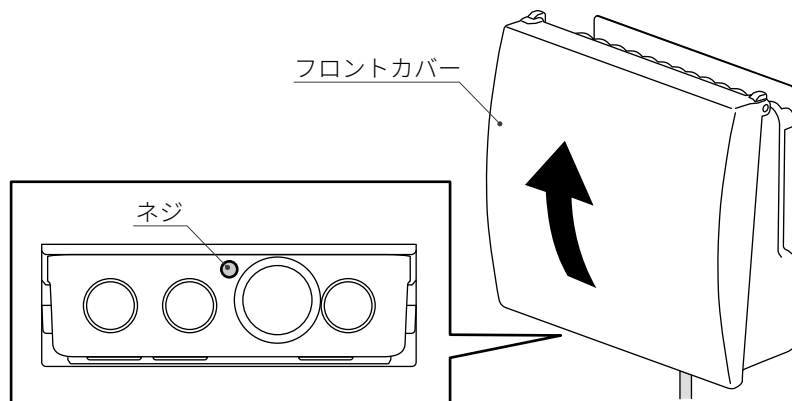
お知らせ

- ・ 停電復帰しても、電力会社との協議で定められた時間内（最大300秒）は「準備中（パワーコンディショナ停止状態）」になります。
リモコン画面に表示された待機時間を経過すると、通常時のモードで動作します。
- ・ 停電時にERZP自動切替盤の切替スイッチを操作した場合は、切替スイッチを元に戻してください。
- ・ 「蓄電池ユニット＋併設の太陽光発電システム」の組み合わせ時、停電中に蓄電池の電力を使用して一定の蓄電池残量まで減ると、蓄電池ユニットは停止状態になります。対応方法は「併設太陽光発電システムで発電できる場合」（P.55）をご参照ください。

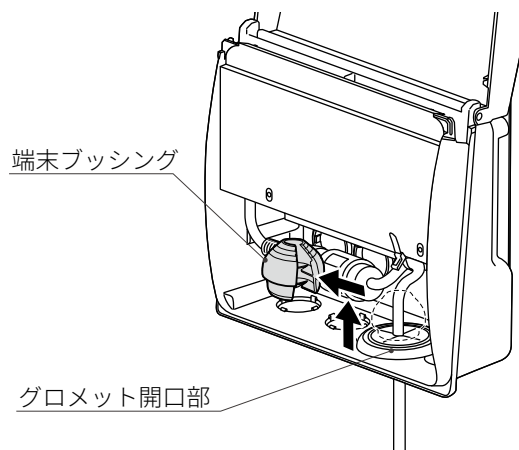
外部電源を片付ける

EXボックスから外部電源の接続を解除し、本システムから取外します。取外すときは、リモコンの設定を変更する必要はありません。

- 1 外部電源の動作を停止する
- 2 EXケーブルを外部電源から抜く
- 3 EXボックスのネジをゆるめ、フロントカバーを開ける

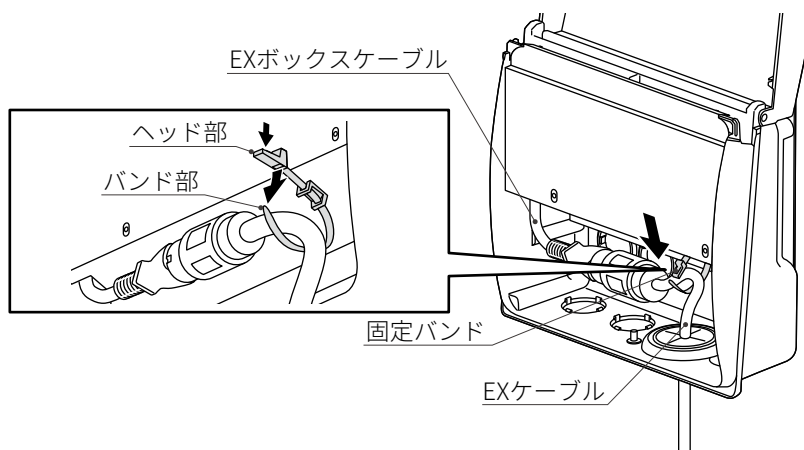


4 グロメット開口部から端末ブッシングを取外す

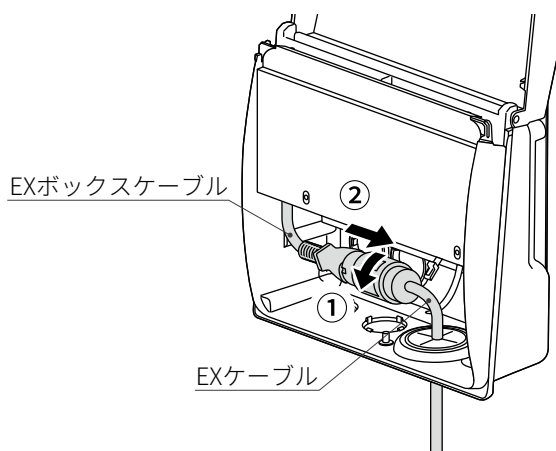


5 固定バンドのヘッド部をつまみ、バンド部をヘッド部から抜いて固定を解除する

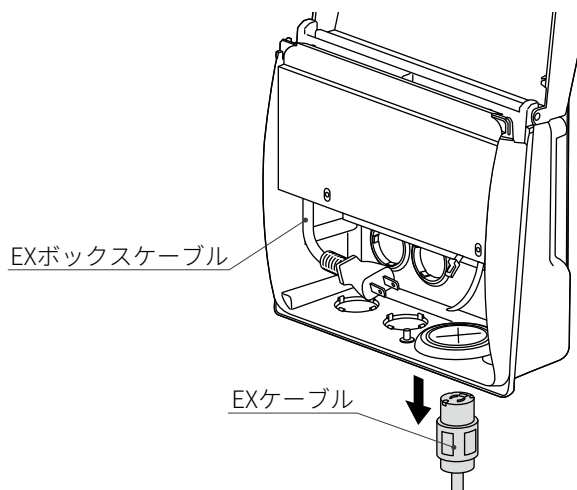
•KYO-EXB02の場合はこの手順操作は不要です。



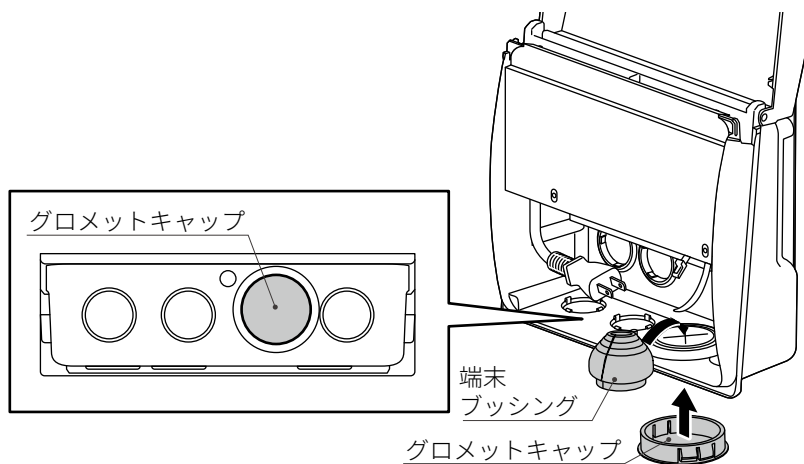
6 EXケーブルを矢印の方向に回転させ(①)、EXケーブルを抜く(②)



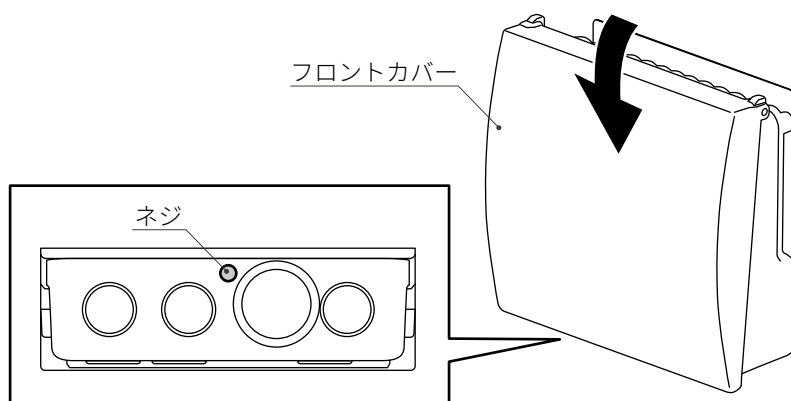
7 EXケーブルをグロメットから引出す



8 グロメットキャップと端末ブッシングをグロメットに取付ける



9 フロントカバーを閉め、ネジで固定する



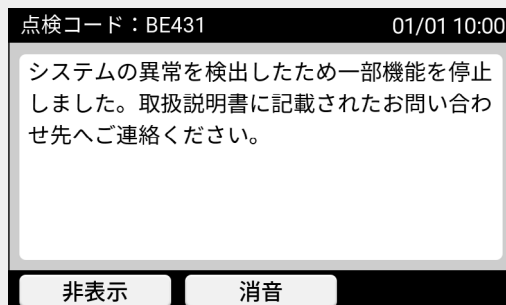
停電時に蓄電池残量がなくなってしまったときは

太陽光+蓄電池・蓄電池のみ

停電時に蓄電池残量がなくなってしまったときは、本システムが停止します。その場合、リモコン画面は真っ暗になり、画面をタッチしても何も表示されません。条件により次の操作を行って対処してください。

注意事項

- ・ 停電時に蓄電池ユニットが使えない場合、「非常時運転モード」が「電池放電禁止モード」に設定されている可能性があります。「非常時運転モード」の設定をご確認ください（P.33）。
- ・ 停電復帰し、日時がリセットされた場合には、「日時を設定する」（P.69）に従い、日時の設定を行ってください。
- ・ 停電状態が長かった場合、右記の画面が表示されることがあります。その場合は、本システムの状態の確認が必要になるためお買い上げの販売会社にご連絡ください。



お知らせ

- ・ 停電時に蓄電池ユニットにエラーが発生したときでも、「太陽光発電」や「外部電源」を利用して電力を放電できる場合は、電力供給を継続します。

太陽光発電ができる場合

太陽光+蓄電池

日中など、太陽光発電ができる場合は自動的にリモコンに給電され、リモコンが使えるようになります。このとき、本システムは非常時運転モードで運転を開始します。

注意事項

- ・ 蓄電池残量がない場合、蓄電池から放電されないため、太陽光発電電力のみが供給されます。そのため、屋内に出力される電力は不安定となり定格電力を出すことができない可能性があります。
- ・ 蓄電池残量がなくなった場合には蓄電池残量0%から1%までの充電に時間がかかります。

お知らせ

- ・ 太陽光発電が併設太陽光発電システムの場合の動作については、「停電時の併設太陽光発電システムの使用について」（P.28）をご参照ください。

1 リモコンが起動するのを待つ

- ・ 非常時運転モードで運転が開始します。

※「非常時運転モード」の設定により、下記の注意事項をご確認ください。

非常時運転モード	注意事項
電池放電優先モード／外部電源優先モード	太陽光発電電力を使用中は蓄電池にも充電されますが、充電した電力を使用することがあります。そのため十分な電力を蓄えられないことがあります。
電池放電禁止モード	蓄電池に十分に充電されるまでは、「電池放電禁止モード」での使用をおすすめします。

外部電源で電力供給できる場合（オプション）

外部電源を本システムに接続することで、リモコンが使えるようになります。

1 外部電源を利用するための操作をする (P.47)

・非常時運転モードで運転が開始します。

併設太陽光発電システムで発電できる場合

蓄電池のみ

「蓄電池ユニット＋併設太陽光発電システム」の組み合わせ時、停電中に蓄電池残量が一定以下に減ると、蓄電池ユニットの「BE614」のエラーがリモコン画面に表示され本システムは停止状態になります。その場合は次の対応方法があります。

■1日程度の停電が想定されている場合

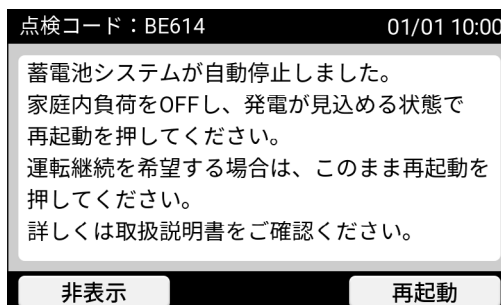
1日程度の停電が想定されている場合は次の対応方法を推奨します。

翌日の併設太陽光発電システムからの電力供給を期待でき、約24時間以内に蓄電池が充電可能であれば、再度本システムを稼働させることができます。

1 主分電盤を「OFF」にする／屋内の消費電力を減らす

2 リモコン画面に表示される「BE614」のエラー画面を確認する

・ポップアップ画面が閉じている場合は「お知らせ」から開くことができます（P.67）。



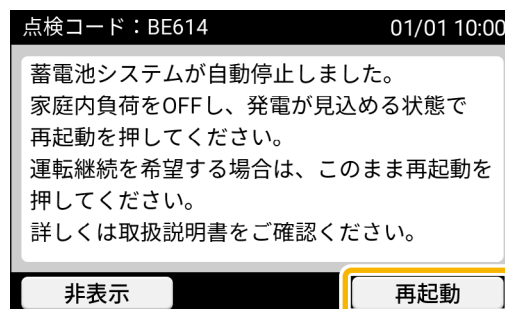
3 日が出ているか、悪天候でないかを確認し、併設太陽光発電システムで発電できるか確認する

・夜間や悪天候時は下記注意事項を確認し、次の手順に進むかどうかをご確認ください。

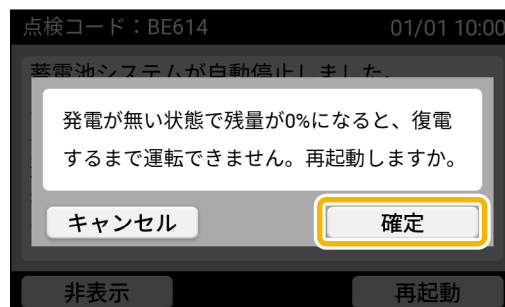
注意事項

・屋内の電気の使用量によりますが、太陽光発電が少ない状態で「BE614」のエラー画面の「再起動」をタッチすると、充電量が少ないためすぐに本システムは運転停止します。一度「再起動」をタッチし、充電を使い切ると、停電から復帰するまで本システムは完全に停止します。完全に停止すると、太陽光発電がある状態でも再起動できません。

4 「BE614」のエラー画面下部の「再起動」をタッチする

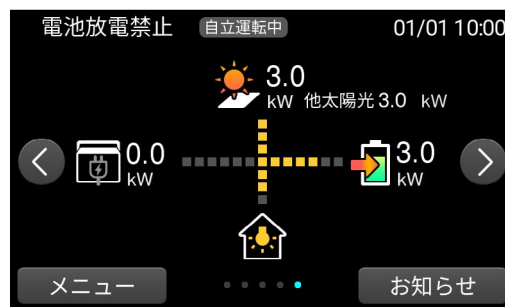


5 「確定」をタッチする



6 リモコンで本システムが充電されることを確認する

- ・蓄電池に充電していることを確認してください。
- ・蓄電池が充電されたことを確認し（蓄電池残量 50%程度）、主分電盤を「ON」にしてください。



■数時間程度の停電が想定されている場合

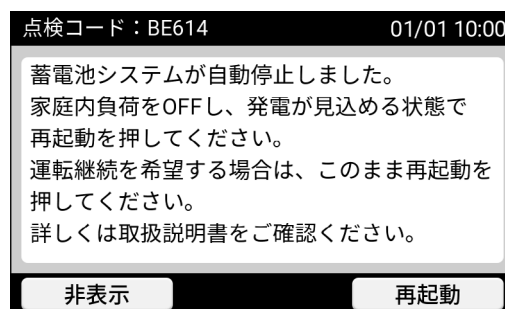
数時間程度の停電が想定され、蓄電残量を使い切っても問題がない場合は次の対応方法を推奨します。

注意事項

- ・屋内の電気の使用量によりますが、太陽光発電が少ない状態で「BE614」のエラー画面の「再起動」をタッチすると、充電量が少ないためすぐに本システムは運転停止します。一度「再起動」をタッチし、充電を使い切ると、停電から復帰するまで本システムは完全に停止します。完全に停止すると、太陽光発電がある状態でも再起動できません。

1 リモコン画面に表示される「BE614」のエラー画面を確認する

- ・ポップアップ画面が閉じている場合は「お知らせ」から開くことができます（P.67）。



2 「BE614」のエラー画面下部の「再起動」をタッチする

Enerezza® Plus IIの通常の動作を知りたい （運転モードについて）

本システムは運転モードを設定することで、電気の充電／使用／売電のタイミングが自動的に設定されます（P.61）。お客様のシステム構成（P.11）をご確認いただき、下記のページをご参照ください。

- 太陽光発電＋蓄電池ユニット→ P.57
- 蓄電池ユニットのみ→ P.60
- 太陽光発電のみ→ P.61

また次の条件により利用できるモードや、リモコンの項目などが異なる場合があります。

- ・ソフトウェアのバージョン
- ・お客様のシステム構成
- ・ご契約内容

「太陽光発電＋蓄電池ユニット」のときに使用できる運転モードについて

太陽光＋蓄電池

「太陽光発電」（本システム／併設）と「蓄電池ユニット」を利用されている構成での、時間帯による電力の種類や、充電／売電の動作は次の内容をご参照ください。

※蓄電池ユニットの台数によって充放電電力が異なります。（P.93）

■グリーンモード

こんな使いかた→ できるだけ太陽光の電力を利用したい

日中は太陽光発電の電力を使用し、余った電力は蓄電池に充電します。

それ以外の時間帯は蓄電池の電力を使用し、充電時間帯設定に従い蓄電池に充電します。


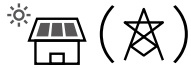




	日中	左記以外
使用電力	<p>■放電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電した電力、蓄電池の電力を使用 ・太陽光発電した電力、蓄電池の電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用  <p>■充電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電した電力を使用 ・太陽光発電した電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用 	<p>■放電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蓄電池の電力を使用 ・蓄電池の電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用  <p>■充電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力会社から電力を購入して使用 
充電／売電	<p>■放電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電した電力の余剰が出るときに充電 ・さらに余剰がある場合は売電  <p>■充電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電した電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して充電 ・充電中に電力が余った場合は売電 	<p>■放電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充電／売電を行わない <p>■充電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力会社から電力を購入し蓄電池に充電 

■フルグリーンモード

こんな使いかた→

蓄電池への充電は電力購入せずに太陽光の電力を利用したい

日中は太陽光発電の電力を使用し、余った電力は蓄電池に充電します。
それ以外の時間帯は蓄電池の電力を使用します。蓄電池への充電は行いません。

	日中	左記以外
使用電力	<p>■放電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電した電力、蓄電池の電力を使用 太陽光発電した電力、蓄電池の電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用  <p>■放電時間帯以外の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電した電力を使用 太陽光発電した電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用 	<p>■放電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 蓄電池の電力を使用 蓄電池の電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用  <p>■放電時間帯以外の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 電力会社から電力を購入して使用 
充電／売電	<p>■放電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電した電力の余剰が出るときに充電 さらに余剰がある場合は売電  <p>■放電時間帯以外の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電した電力の余剰が出るときは充電 充電中に電力の余剰が出るときは売電 	<p>■放電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 充電／売電を行わない <p>■放電時間帯以外の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 充電／売電を行わない








お知らせ

- 本システムの蓄電池は、1週間に1回程度の満充電を必要とします。
フルグリーンモードで運転をしていると、日ごろから太陽光発電の電力では満充電にならない場合があります。
その場合は次の設定をお試しください。
 - 「非常時安心設定」の設定値（%）を上げる（P.36）
 - 「充電時刻」を設定できるグリーンモードで運転する（P.61）

■売電モード

こんな使いかた→ **できるだけ電力を売りたい**

日中は太陽光発電の電力を使用し、余った電力を売電します。蓄電池への充電は行いません。それ以外の時間帯は蓄電池の電力を使用します。充電時間帯設定に従い電力会社から電力を購入し蓄電池に充電します。

	日中	左記以外
使用電力	<p>■放電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電した電力、蓄電池の電力を使用 太陽光発電した電力、蓄電池の電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用  <p>■充電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電した電力を使用 太陽光発電した電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用 	<p>■放電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 蓄電池の電力を使用 蓄電池の電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用  <p>■充電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 電力会社から電力を購入して使用 
充電／売電	<p>■放電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電した電力の余剰が出るときに売電  <p>■充電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電した電力の余剰が出るときに売電 	<p>■放電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 充電／売電を行わない <p>■充電時間帯の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 電力会社から電力を購入し蓄電池に充電 

■強制充電モード

こんな使いかた→ **停電に備えて蓄電したい**

充電時間帯、放電時間帯の設定によらず、充電を行います。充電完了後は待機状態になり、放電を行いません。災害の備え等で充電のみを行いたい場合に設定します。充電には太陽光発電の余剰電力および電力会社から購入した電力を使用します。

■待機モード

こんな使いかた→ **充放電を止めたい**

充電時間帯、放電時間帯の設定によらず、充放電を行わないモードです。一定期間、充放電を止めたい場合に設定します。通常は使用しません。

お知らせ

- 太陽光発電は止まりません。余剰電力は売電されます。

「蓄電池ユニットのみ」のときに使用できる運転モードについて

蓄電池のみ

「蓄電池ユニット」を利用されている構成での、時間帯による電力の種類や、充電の動作は次の内容をご参照ください。

※蓄電池ユニットの台数によって充放電電力が異なります。（P.93）

※「蓄電池ユニット」のみの構成の場合でも、併設太陽光発電システムを利用できる場合は「太陽光発電＋蓄電池ユニット」のときに使用できる運転モードについて」（P.57）を参照してください。



注意事項

- フルグリーンモードは、蓄電池が充電されず、停電時に利用できない場合があるため非推奨です。

■フルグリーンモード

こんな使いかた➡ 蓄電池の電力を使い切りたい




放電時刻の設定に従い蓄電池の放電を行います。併設太陽光発電システムを利用していない場合は充電されません。グリーンモードまたは売電モードに設定してください。

蓄電池からの充放電状態	放電時間帯	左記以外
放電 (使用される電力)	・蓄電池の電力を使用 	・電力会社から電力を購入して使用 
充電	・充電動作なし	・充電動作なし

■グリーンモード／売電モード

こんな使いかた➡ 蓄電池の電力を日常的に使いたい

充電時刻、放電時刻の設定に従い蓄電池の充放電を行います。

蓄電池からの充放電状態	放電時間帯	充電時間帯
放電 (使用される電力)	・蓄電池の電力を使用 ・蓄電池の電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用 	・電力会社から電力を購入して使用 
充電	・充電動作なし	・電力会社から電力を購入し蓄電池に充電 

■強制充電モード

こんな使いかた➡ 停電に備えて蓄電したい

充電時間帯、放電時間帯の設定によらず、充電を行います。充電完了後は待機状態になり、放電を行いません。災害の備え等で充電のみを行いたい場合に設定します。

充電には電力会社から購入した電力を使用します。

■待機モード

こんな使いかた→ 充放電を止めたい

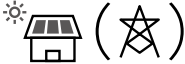

充電時間帯、放電時間帯の設定によらず、充放電を行わないモードです。一定期間、充放電を止めたい場合に設定します。通常は使用しません。

「太陽光発電のみ」のときの通常動作について

太陽光のみ

「太陽光発電」（本システム／併設）を利用する構成での、時間帯による電力の種類や、売電の動作は次の内容をご参照ください。

こんな使いかた→ 太陽光発電の電力を利用したい

	本システムの動作
使用電力	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電した電力を使用 ・太陽光発電した電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用 ・太陽光発電で発電できない場合は電力会社から電力を購入して使用 
売電	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電による電力の余剰が出るときは売電 

通常の使いかたを設定する

運転モードを設定することで、本システムの通常の動作を設定することができます。お買い上げのシステム構成の手順をご参照ください。

お客様のシステム構成をご確認いただき、下記のページをご参照ください。

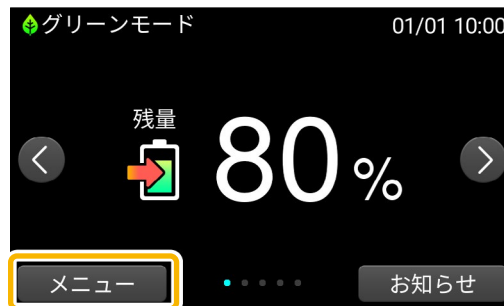
- 太陽光発電＋蓄電池ユニット→ P.61
- 蓄電池ユニットのみ→ P.62
- 太陽光発電のみ→ P.63

「太陽光発電＋蓄電池ユニット」での設定をする

太陽光＋蓄電池

「太陽光発電」（本システム／併設）と「蓄電池ユニット」を利用する構成での、運転モードの設定方法は次のとおりです。

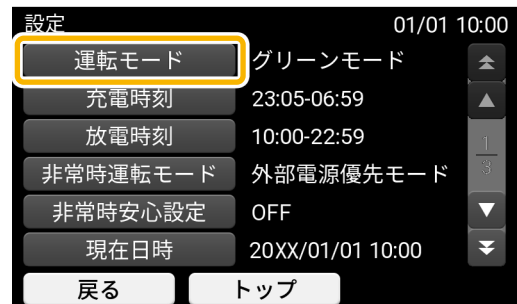
1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする

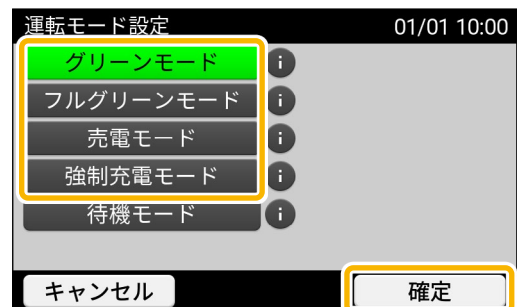


3 「運転モード」をタッチする



4 項目をタッチして選択したあと、「確定」をタッチする

・**i**をタッチすると運転モードの説明が表示されます。



■カスタマイズするには

カスタマイズするには次のページをご参照ください。

→「充電時刻／放電時刻を設定する」へ

P.64

→「買電充電量を設定する」へ

P.66

「蓄電池ユニットのみ」での設定をする

蓄電池のみ

「蓄電池ユニット」を利用する構成での、運転モードの設定方法は次のとおりです。

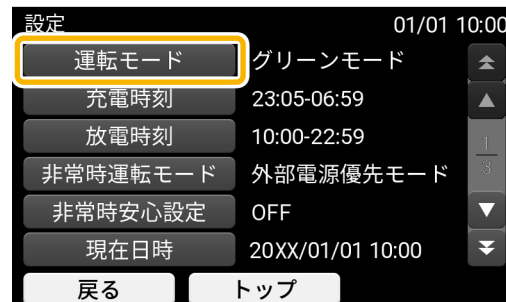
1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする

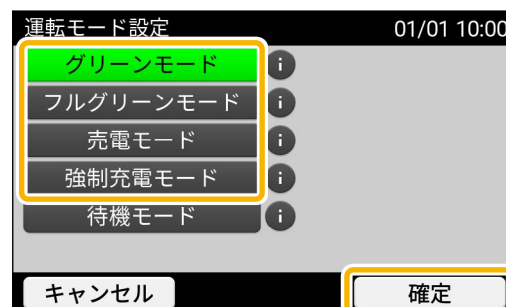


3 「運転モード」をタッチする



4 項目をタッチして選択したあと、「確定」をタッチする

・**i**をタッチすると運転モードの説明が表示されます。



■カスタマイズするには

カスタマイズするには次のページをご参照ください。

→「充電時刻／放電時刻を設定する」へ

P.64

→「買電充電量を設定する」へ

P.66

「太陽光発電のみ」での設定をする

太陽光のみ

太陽光発電のみの利用の場合は、運転モードの設定はできません。運転の開始／停止のみ行えます。開始／停止の操作は「システムを停止／開始する」(P.82)と同じ操作になります。

蓄電池の充放電の動作をカスタマイズする

太陽光 + 蓄電池 蓄電池のみ

本システムで蓄電池ユニットを利用している場合、充放電に関する通常動作をカスタマイズすることができます。

充電時刻／放電時刻を設定する

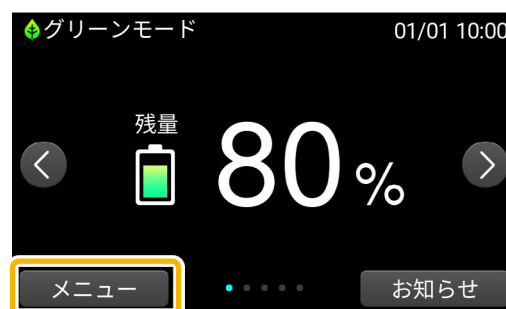
運転モードによっては充電時刻／放電時刻の両方、または片方を設定することができます。運転モードの違いにより設定できる時間については下記の表をご参照ください。

運転モード	充電時刻	放電時刻
グリーンモード	○	○
フルグリーンモード	—	○
売電モード	○	○
強制充電モード	—	—

お知らせ

- 工場出荷時の設定は次のとおりです。
 「充電開始時刻／停止時刻」：23時05分-06時59分
 「放電開始時刻／停止時刻」：10時00分-22時59分
- HEMS機器など制御機器に接続した場合、制御方法によっては満充電にならない場合があります。
- 充電時刻に充電する充電量は、「買電充電量設定」で設定した量を充電します（P.66）。
- 放電時間帯でも、太陽光発電時に余剰電力がある場合は充電する場合があります。

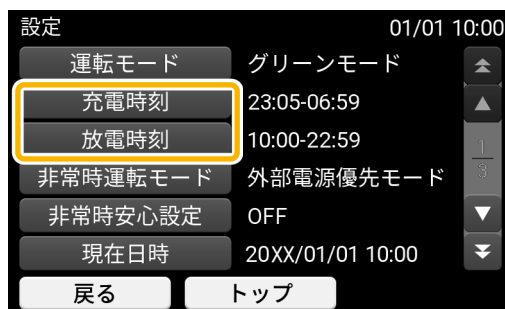
1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする

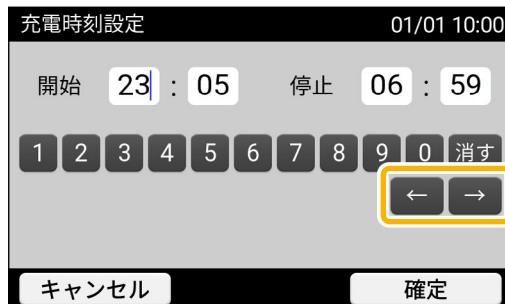


3 「充電時刻」／「放電時刻」をタッチする



4 「←」／「→」をタッチして変更したい数字にカーソルを移動する

・変更したい数字をタッチすることでカーソルを移動させることもできます。

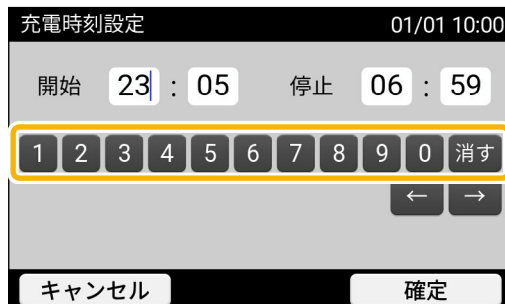


5 開始時刻、停止時刻を入力する

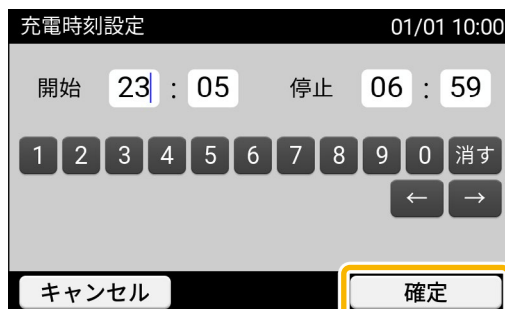
・時刻は24時間表記で入力してください。

注意事項

- ・1週間以内を目安に満充電になるように「充電時刻」を設定してください。
長期間満充電にならない場合、蓄電池の使用可能量が減少する可能性があります。
- ・充電目安時間は蓄電容量（蓄電池ユニット台数）によらず約4時間（25℃条件）です。使用温度範囲内であっても低温環境下では蓄電池保護のために充電時間が延びる場合があります。



6 「確定」をタッチする



買電充電量を設定する

太陽光+蓄電池

蓄電池のみ

充電時間帯に充電しておく最大充電量を設定します。

夜間に充電することを想定した設定です。

翌日以降の充電を見込める場合は、設定値を低めに設定しておくこと太陽光発電電力を屋内で利用しやすくなります。非常時安心設定の値より大きい値に設定してください。

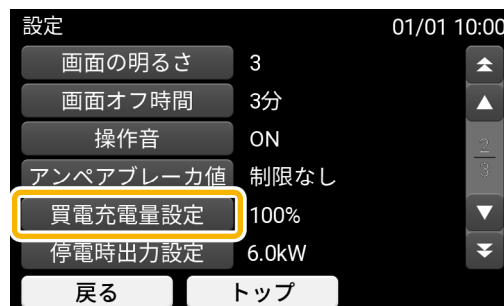
1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする



3 「買電充電量設定」をタッチする



4 ▲▼で数値を入力したあと、「確定」をタッチする

・10%単位で設定できます。



お知らせを確認する

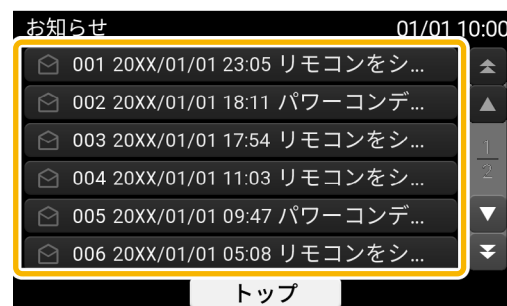
お知らせがある場合は、お知らせランプ (P.16) が点灯・点滅します。

1 トップ画面で「お知らせ」をタッチする



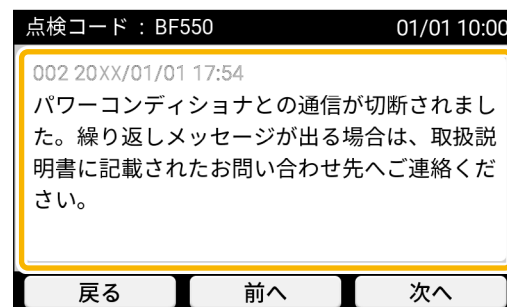
2 表示したいお知らせをタッチする

- 未読／既読によってアイコンの色が変わります (未読:白／既読:グレー)。
- リストには最大10件のお知らせが表示されます。
- 古い日付のデータから自動的に削除されます。



3 お知らせの内容を確認する

- 下段のボタンで次の操作ができます。
 - 戻る: お知らせ一覧画面に戻ります。
 - 次へ: お知らせ一覧の下のお知らせを表示します。
 - 前へ: お知らせ一覧の上のお知らせを表示します。
- ※メッセージ内に「再起動をしてください」の記載があっても、お知らせ画面には再起動ボタンは表示されません。再起動ボタンはエラーメッセージ表示時 (P.86) に表示されます。



充放電を一時的に止める

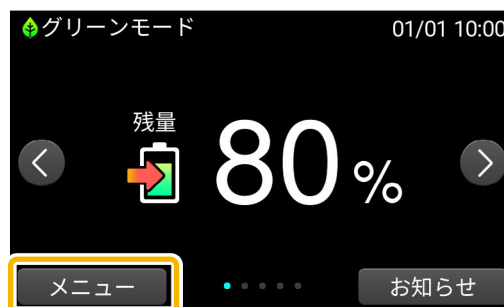
太陽光+蓄電池

蓄電池のみ

故障以外で充放電を止めたい場合は、「待機モード」に設定してください。

充放電を再開したい場合は、「グリーンモード」など、「待機モード」以外の運転モードに設定します。設定方法は「通常の使いかたを設定する」（P.61）を参照してください。

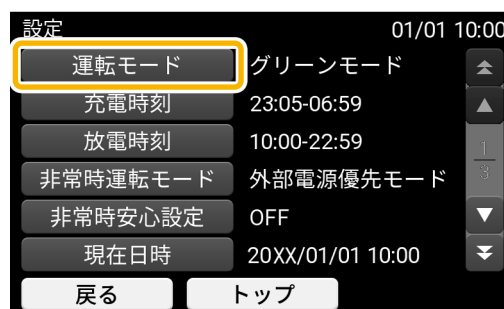
1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



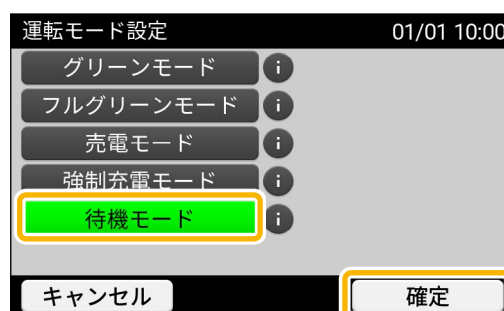
2 「設定」をタッチする



3 「運転モード」をタッチする



4 「待機モード」を選択したあと、「確定」をタッチする



お知らせ

- ・「待機モード」設定時でも、蓄電池の過放電を防ぐため、自動的に充電する場合があります。

日時を設定する

日時は通常、ネットワーク経由で自動補正されます。手動で日時を設定する場合はこのページの操作を行ってください。

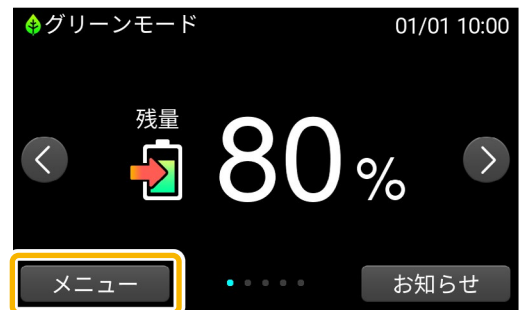
注意事項

- ・日時がずれていると、割高な電気料金の時間に充電を行ってしまうなど、予期せぬ事態が発生する場合があります。必要に応じて手動で日時を設定してください。

お知らせ

- ・電力会社の遠隔出力制御に従うときに時間が大きく異なる場合はお買い上げの販売会社にご相談ください。

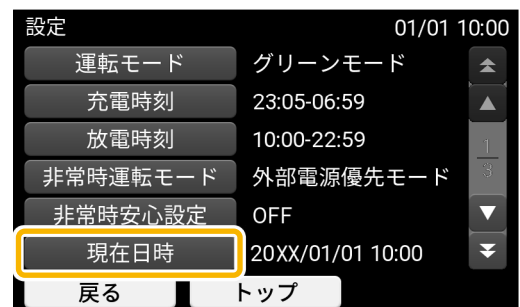
1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする



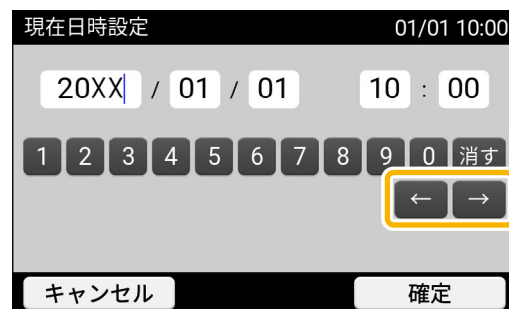
3 「現在日時」をタッチする



4

「←」／「→」をタッチして変更したい数字にカーソルを移動する

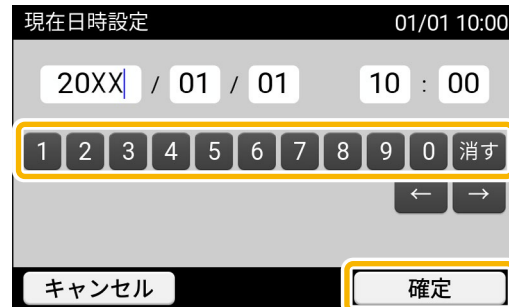
・変更したい数字をタッチすることでカーソルを移動させることもできます。



5

現在日時を入力したあと、「確定」をタッチする

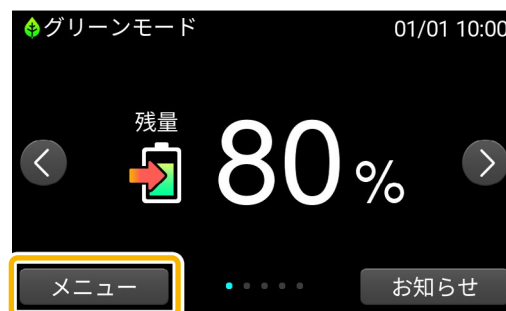
・時刻は24時間表記で入力してください。



画面の明るさを変更する

タッチパネルの明るさを設定できます。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする



3 「画面の明るさ」をタッチする



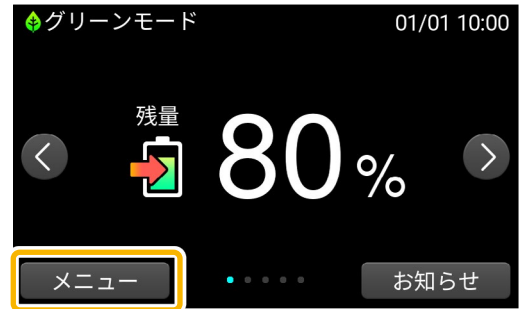
4 「暗く」／「明るく」をタッチして調整したあと、「確定」をタッチする



画面オフ時間を変更する

タッチパネルを操作していないときに、画面が消灯するまでの時間を設定できます。

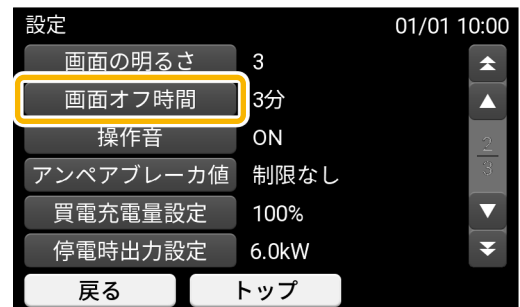
1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする

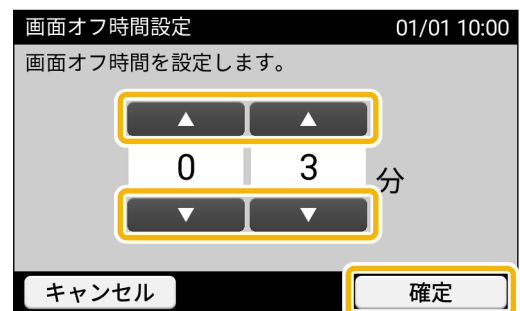


3 「画面オフ時間」をタッチする



4 ▲▼で時間を設定したあと、「確定」をタッチする

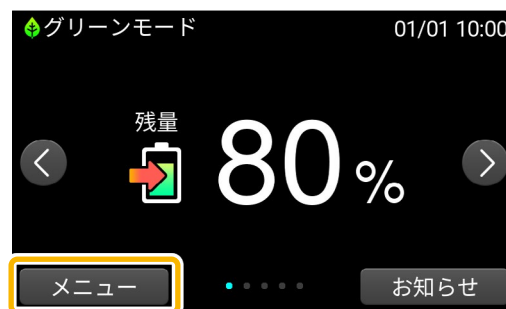
・設定できる時間は最大で10分です。



操作音を変更する

画面操作音の「ON」／「OFF」を設定できます。

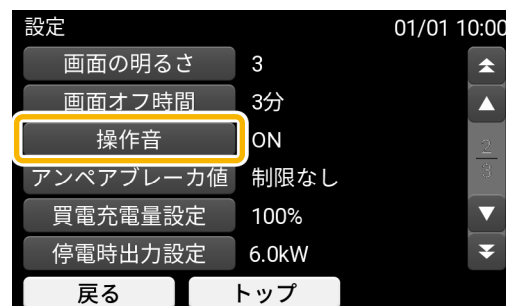
1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする



3 「操作音」をタッチする



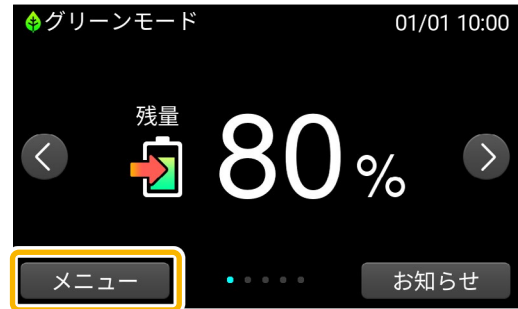
4 項目をタッチして選択したあと、「確定」をタッチする



アンペアブレーカ値を変更する

電力会社との契約容量に合わせて設定してください。通常は変更する必要はありません。

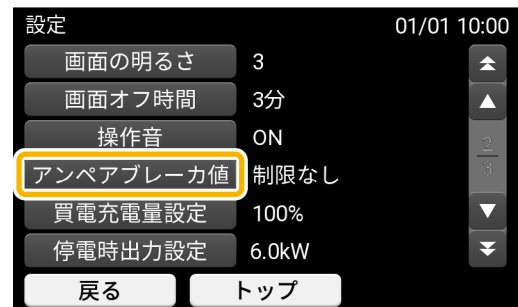
1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする

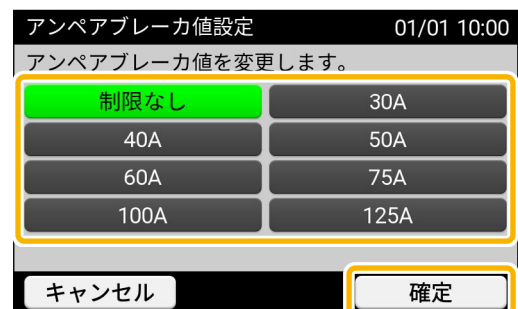


3 「アンペアブレーカ値」をタッチする



4 項目をタッチして選択したあと、「確定」をタッチする

- 電力会社との契約容量に合わせて設定してください。契約容量と同じ値がない場合は、契約容量よりも小さな直近の値を選択してください。
- アンペアブレーカがない場合は「制限なし」を選択してください。



ネットワークの設定について

注意事項

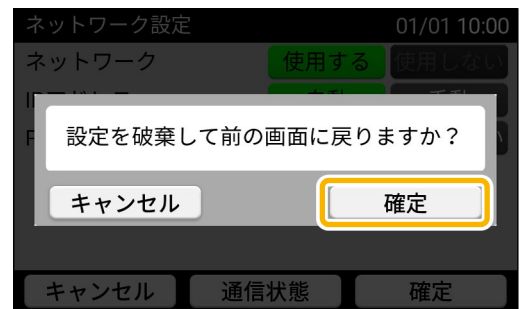
- ネットワーク設定では不必要な変更はしないようにしてください。
誤って設定変更すると、ハウスマイル ネットワークとの通信ができなくなります。

誤ってネットワーク設定画面に入ってしまったときは

- 1 「キャンセル」をタッチする
・「IPアドレス」や「PROXY」の設定を変更してしまった場合は、「キャンセル」を行ってください。



- 2 「確定」をタッチする



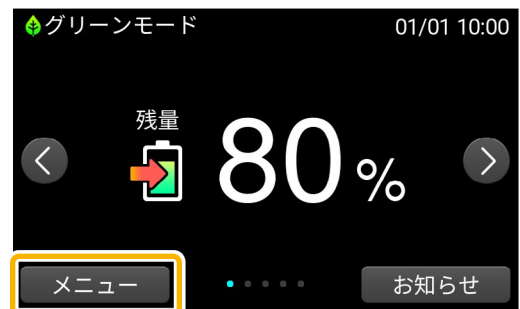
ネットワークの通信状態を確認する

ネットワーク通信の状態確認が必要になるのは、レジリエンスモードをONに設定している時に気象警報が発生しそうときや、Enezza Plus II がハウスマイル ネットワークへ定期的にデータ送信を行っていないと思われるときです。

具体例として、次の現象が起きているときはネットワークの通信状態を確認してください。

- ハウスマイル ネットワークで表示される充放電の数値が変わらない
- ハウスマイル ネットワークで表示されるグラフに欠けがある

- 1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする



3 「ネットワーク」をタッチする



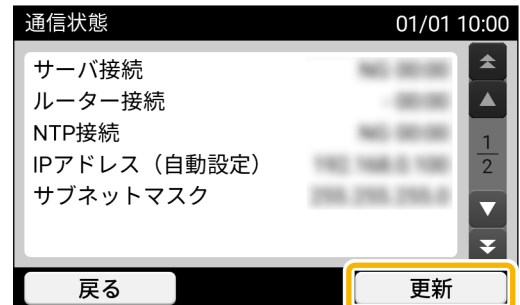
4 「通信状態」をタッチする



5 「更新」をタッチする

・更新後、リモコンの表示が次の状態になっていれば正常です。

通信モデム使用時	
サーバ接続	OK
ルーター接続	NG
NTP接続	OK
有線LAN接続時	
サーバ接続	OK
ルーター接続	OK
NTP接続	OK



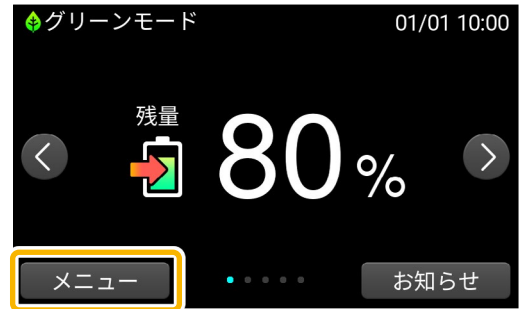
お知らせ

- ・サーバ接続が数日間NGの場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
- ・通信モデムのみを使用している場合、ルーターには接続されていないため「ルーター接続」は「NG」になりますが、問題ありません。

機器情報 (ゲートウェイ ID など) を確認する

本システムの機器情報を確認できます。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「機器情報」をタッチする








・機器情報一覧が表示されます。



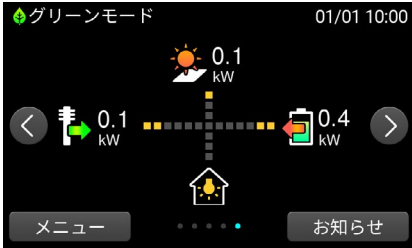
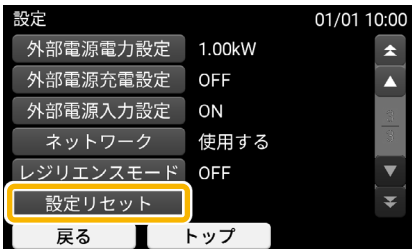
■ 機器情報一覧

項目	内容
蓄電システム	本システムに関する情報を表示します。 ■情報 型式／容量／ゲートウェイID／サイクルカウント
蓄電池ユニット1	接続している蓄電池ユニットに関する機器情報を表示します。 蓄電池ユニットが複数台接続されている場合は、「蓄電池ユニット1」-「蓄電池ユニット3」と表示されます。 ■情報 型式／蓄電池製造番号／BMS製造番号／Ver.
蓄電池ユニット2	
蓄電池ユニット3	
パワーコンディショナ	本システムで利用しているパワーコンディショナに関する機器情報を表示します。 ■情報 型式／製造番号／Ver.／定格出力
拡張ユニット	本システムで利用している拡張ユニットに関する機器情報を表示します。 ■情報 型式／製造番号／Ver.
リモコン	本システムで利用しているリモコンに関する機器情報を表示します。 ■情報 型式／製造番号／Ver.／出力制御Ver.
通信モデム	本システムで利用している通信モデムに関する機器情報を表示します。 ■情報 型式／ICCID
ECHONET Lite	本システムで利用しているECHONET Liteに関する機器情報を表示します。 ■情報 Ver.
特定計量値	本システムで利用している特定計量値に関する機器情報を表示します。 ■情報 交流入力電力量／交流出力電力量／太陽光発電電力量／蓄電池充電電力／蓄電池放電電力

お困りのときは

状態	対処方法	ページ								
ブザーが鳴った	ブザーが鳴ったときは、リモコンの画面に表示されるメッセージの内容に従って処置してください。	P.86								
お知らせランプが点灯/点滅している	お知らせランプが点灯/点滅しているときは、リモコンの画面に表示されるメッセージの内容に従って処置してください。	P.16								
製品から音が発生する	以下の音は本製品の異常ではありません。 <table border="1"> <tr> <td>ジージー音</td> <td rowspan="3">製品内部の回路が動作するときに発生する音です。</td> </tr> <tr> <td>チリチリ音</td> </tr> <tr> <td>チャリチャリ音</td> </tr> <tr> <td>カチャ音</td> <td>製品内部の機械部分が動作するときに発生する音です。(運転開始時と、停止時に発生)</td> </tr> <tr> <td>ブーン音</td> <td>ファンの音です。</td> </tr> </table> <p>※運転時の動作音は、聴覚感度が高い方にとっては不快に感じる場合があります。</p>	ジージー音	製品内部の回路が動作するときに発生する音です。	チリチリ音	チャリチャリ音	カチャ音	製品内部の機械部分が動作するときに発生する音です。(運転開始時と、停止時に発生)	ブーン音	ファンの音です。	—
ジージー音	製品内部の回路が動作するときに発生する音です。									
チリチリ音										
チャリチャリ音										
カチャ音	製品内部の機械部分が動作するときに発生する音です。(運転開始時と、停止時に発生)									
ブーン音	ファンの音です。									
アンペアブレーカが頻繁に落ちる	本システムが充電動作中にアンペアブレーカが頻繁に落ちる場合は、アンペアブレーカ値の設定に間違いがないかご確認ください。設定に間違いがない場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。	P.74								
リモコンが動かなくなった	リモコンの画面をタッチしても反応しない場合は、リモコンの電源スイッチを「OFF」にし1分程度経過後、電源スイッチを「ON」にしてください。頻繁に発生するときは何らかの異常が考えられますので、お買い上げの販売会社にご連絡ください。	P.16								
リモコン画面が表示されない	<p>停電状態以外で、リモコン画面が表示されない場合は、リモコンの電源スイッチが「OFF」になっているか、リモコンが故障している可能性があります。リモコンの電源スイッチが「OFF」の場合は、電源スイッチを「ON」にしてください。それ以外の場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。</p> <p>停電状態でリモコン画面が表示されない場合は、蓄電池残量がない場合も考えられます。「停電時に蓄電池残量がなくなってしまったときは」(P.54)の処置を行ってもリモコン画面が表示されない場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。</p>	P.16 裏表紙								
蓄電池の残量表示が100%にならない  	蓄電池は温度により充電が抑制されることがあるため十分な充電時間を確保しているにもかかわらず、満充電にならないことがあります。充電目安時間は蓄電容量(蓄電池ユニット台数)によらず約4時間ですが、低温環境下においては充電時間が10時間以上かかる場合があります。	—								
買電充電量設定で設定した量の充電ができない  	蓄電池は温度により充電が抑制されることがあるため十分な充電時間を確保しているにもかかわらず、指定のパーセントまで充電できないことがあります。	—								
契約容量を変更したときは	電力会社との契約容量を変更したときは、アンペアブレーカ値も変更してください。	P.66								
充放電電力が抑制される  	<p>パワーコンディショナの温度が高い場合に、太陽光発電の電力や、蓄電池の充放電電力が抑制され「温度抑制中」と表示されることがあります。2-3日この状態が続くときは、お買い上げの販売会社にご連絡ください。</p> <p>蓄電池の温度が低い、もしくは高い場合も充放電電力が抑制される場合がありますが故障ではありません。また、お客様の契約内容によって外部機器やサーバから充放電電力が抑制される場合があります。この場合は、「温度抑制中」と表示されません。</p>		裏表紙							

状態	対処方法	ページ
リモコンに「リモート」または「調整力モード」と表示される	<p>HEMS機器など制御機器やサーバから制御されている場合に表示されます。なお、表示中もリモコン画面からの操作は可能です。</p> 	—
リモコン表示が頻繁に切替わる	<p>屋内の消費電力が100W未満の場合、および屋内の消費電力と太陽光発電の電力がほぼ同じになる場合、リモコンの表示が放電と待機で繰り返し切り替わることがあります。</p>	—
蓄電池利用時の電力が十分なのに買電される 太陽光・蓄電池	<p>太陽光発電をしていないとき、もしくは太陽光発電の電力が消費電力を下回り蓄電池から放電されているときは、本システムが電気製品に対して十分な電力を放電していても微量の電力を買電する制御を行っています。</p>	—
太陽光発電時に余剰充電しているのに売電される 太陽光・蓄電池	<p>太陽光発電電力の余剰分を蓄電池に充電する場合、太陽光発電の電力が変動しても買電とならないよう、微量の電力を売電する制御を行っています。</p> 	—
逆流と表示される	<p>屋内の電力が電力系統へ流れていますが、売電はされていません。電力会社との契約内容をご確認のうえ、お買い上げの販売会社にご連絡ください。</p>	—
勝手に充電される	<p>「レジリエンスモード」がONの状態では警報が発報されるとレジリエンスモードになり、強制的に充電されます。蓄電池残量が低下すると電池保護のため、充電することがあります。</p>	P.42
「レジリエンス」と表示される	<p>「レジリエンスモード」がONの状態では警報が発報されるとレジリエンスモードになり、強制的に充電されます。</p>	P.42
運転モードが勝手に変わっていた	<p>「レジリエンスモード」により、警報解除後に運転モードが自動で切り替わった可能性があります。「警報解除時運転モード」の設定をご確認ください。上記の条件が当てはまらない場合は、遠隔操作のご契約をされている可能性があります。その場合はお買い上げの販売会社にご連絡ください。</p>	P.42
通信が不安定	<p>本製品では通信モデムを使用したLTE通信と、お客様の通信環境を利用した有線LAN接続による通信が可能です。施工時に通信状態を確認しておりますが、周囲の環境の変化により通信状態が悪化する可能性があります。通信状態をご確認のうえ、詳細は販売会社にご確認ください。</p>	P.75
外部電源機器の動作が停止する	<p>EXボックスを利用し本システムに外部電源機器を接続して使用中に、外部電源機器の動作が停止する場合があります。その際は外部電源機器を操作して正常に動作するか確認し、外部電源電力の設定を見直してください。</p>	P.40
外部電源機器の停止後に再起動させる	<p>EXボックスを利用し本システムに外部電源機器を接続して使用中に、外部電源機器の動作が停止し外部電源機器の再起動が必要になる場合があります。外部電源機器の再起動後、正常に動作するか確認してください。</p>	—
外部電源を利用できない	<p>EXボックスを利用し本システムに外部電源機器を接続して使用する際に、外部電源機器から電力が供給できないことがあります。その際は、本システムより外部電源機器を外して正常に動作するか確認し、外部電源電力の設定を見直してください。</p>	P.40
外部電源の設定ができない	<p>EXボックスが設置されているが、リモコンで外部電源の設定ができない場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。</p>	—

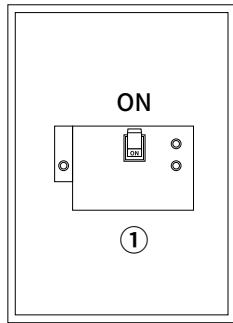
状態	対処方法	ページ
外部電源からの電力が過負荷になった	EXボックスを利用し本システムに外部電源機器を接続して使用中に、外部電源機器が過負荷により停止する場合があります。その際は外部電源電力の設定や使用する電気機器を見直してください。	P.40
外部電源からの電力が不足した	EXボックスを利用し本システムに外部電源機器を接続して使用する際に、外部電源機器からの電力が不足する場合があります。その際は外部電源電力の設定や使用する電気機器を見直してください。	P.40
発電があるのに、余剰充電しない 余剰充電中に電力を売っている	本システムは余剰電力が300W以上にならないと、蓄電池への充電を行いません。また、余剰充電中は40W程度の電力を売電します。	—
勝手に買電(100W)する	<p>蓄電池にためた電気をご家庭で使うとき約100Wの買電を行います。安定動作のため、約100Wの買電がされるまでは蓄電池から放電は行いません。これは蓄電池にためた電気が電力系統に逆流してしまうことを防ぐために必要な動作です。</p> 	—
放電中に買電(100W)する		—
設定情報をリセットしたい	<p>設定情報をリセットする(初期状態に戻す)場合は、トップ画面の「メニュー」→「設定」の画面から「設定リセット」>「確定」をタッチしてください。 「設定リセット」を行うとリモコンが再起動し、運転停止になります。運転開始をする場合は「運転を開始する」(P.9)をご確認ください。</p>  <p>●廃棄時や家の売却時など本製品を手放す際は、残留した設定情報が第三者に確認されるリスクを防ぐため「設定リセット」を行ってください。</p>	—

長期不在になる

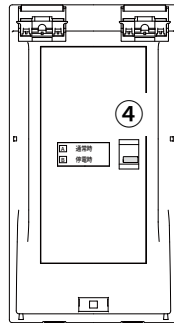
コンセントに接続されている電気製品を含め、電気製品に電気を供給したくない場合は、下記の状態に設定変更してください。

ブレーカ	状態
主分電盤内の主幹ブレーカ③	OFF

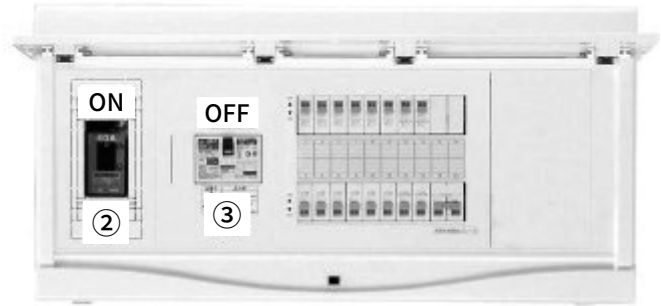
分電盤、ブレーカの配置例



蓄電システム用漏電ブレーカ



ERZP自動切替盤



主分電盤

- ①：蓄電システム用漏電ブレーカ
- ②：契約ブレーカ
- ③：主幹ブレーカ
- ④：切替スイッチ

注意事項

- ・長期間、蓄電池が充電されない場合、蓄電池が過放電状態になるおそれがあり、その影響で蓄電池が使用できなくなる可能性があります。
長期間、蓄電システム用漏電ブレーカ（①）を「OFF」にする必要がある場合は、お買い上げの販売会社にご相談ください。
- ・本システムから主分電盤以外に電力を供給している場合は、該当する回路のブレーカもOFFしてください。

システムを停止／開始する

蓄電池ユニット利用時、本システムの運転を停止しないでください。常時稼働する仕組みとなっているため、運転を停止すると不具合が起こる場合があります。

注意事項

- ・故障時以外は、蓄電システム用漏電ブレーカ、契約ブレーカ、主幹ブレーカを「OFF」にしないでください。
- ・本システムへの電力が遮断されると蓄電池が充電されないため、本システム内部の電力消費により蓄電池が過放電状態になります。この状態が長期間継続すると、蓄電池を使用できなくなる可能性があります。

本システムを停止するには、以下の手順で行ってください。

システムを停止する

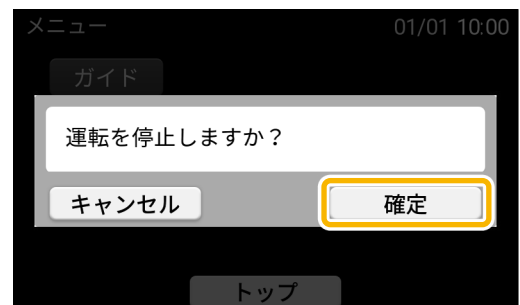
- 1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



- 2 「運転停止」をタッチする



- 3 「確定」をタッチする



- 4 リモコンの電源スイッチを「OFF」にする

- 5 蓄電システム用漏電ブレーカを「OFF」にする

システムを起動する

本システムを起動するには、以下の手順で行います。

1 蓄電システム用漏電ブレーカを「ON」にする

2 リモコンの電源スイッチを「ON」にする

注意事項

- ・右の画面表示中はリモコンの電源スイッチを切らないでください。

リモコンを起動しています。
しばらくお待ちください。



3 リモコンの日付と時刻を確認する

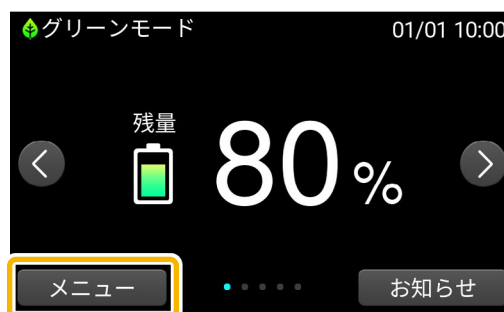
- ・リモコンの画面右上に表示している日付と時刻を確認してください。

注意事項

- ・現在日時と大きく異なる場合はリモコンの通信状態を確認してください (P.75)。通信状態が悪く、リモコンの表示している日時が現在日時にならない場合は、日付および時刻を手動で設定してください (P.69)。リモコンの日付、時刻が大きく異なると、運転開始時にエラーが発生する可能性があります。



4 「メニュー」をタッチする

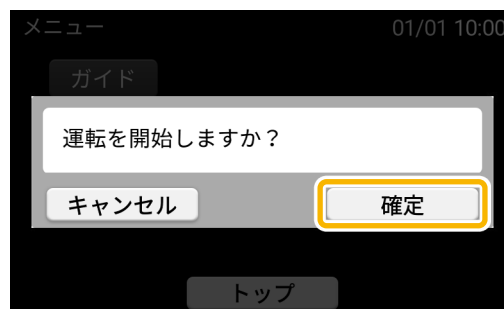


5 「運転開始」をタッチする



6 「確定」をタッチする

・運転を開始するまでに時間がかかることがあります。



お知らせ

- ・メンテナンスモード中に運転停止した場合、「待機モード」で運転再開します。
「通常の使いかたを設定する」(P.61)に従って、運転モードも変更してください。

風水害時の対応

風水害時は次の対応を行ってください。

水没のおそれがあるとき

- 1 本システムを停止する (P.82)**
 - ・本システムが水没する前にあらかじめ運転を停止させます。

注意事項

- ・運転開始する場合は、被害状況に応じてお買い上げの販売会社までご連絡ください。

水没したとき

水害、地震などの災害により水没（一部浸水を含む）、破損した蓄電システムにはむやみに近づかず、触らないでください。

感電・発煙・発火・火災などのおそれがあります。

お買い上げの販売会社までご連絡ください。

水害の際の蓄電システムの取扱いに関する注意点（一般社団法人日本電機工業会ホームページ）についてもご確認ください。

<https://www.jema-net.or.jp/publication/brochures/DS5245.html>

地震時の対応

地震時は次の対応を行ってください。

- 1 本システムの状況を確認する**
 - ・地震により本システムの機器に故障や破損があるか確認します。問題がある場合は次の手順に進みます。

- 2 お買い上げの販売会社まで連絡する**
 - ・地震後にリモコンの電源スイッチを「OFF」にしたり、蓄電システム用漏電ブレーカを「OFF」にしたりした場合は、必ずERZP自動切替盤内の切替スイッチを「I(系統)」側に切り替えてください。

エラーメッセージが表示されたら

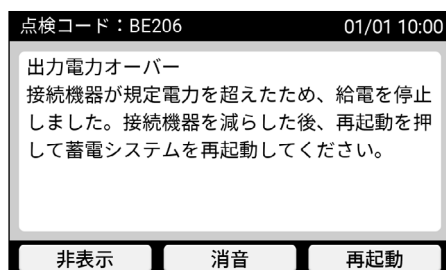
エラーメッセージが表示されたときは、本製品の故障が考えられます。エラーメッセージ一覧に従い、すみやかに処置してください。

故障したまま放置すると蓄電池に充電されない状態が続きますが、本システムの電力消費により蓄電池からの給電を続けることとなります。この状態が続くと、蓄電池の充電量が低下し過放電になるため、本システムを利用できなくなるおそれがあります。

お買い上げの販売会社もしくは、京セラ専用ダイヤルにご連絡いただく際は、型式、製造番号、点検コードをご連絡ください。

お知らせ

- ・「非表示」をタッチすると、エラーメッセージ画面が解除されます。エラー状態が継続している場合には、解除後も約60秒すると、再度エラーメッセージが表示されます。
- ・BF100など一部のエラーを除きエラーメッセージが表示された場合は、ブザーが鳴ります。「消音」をタッチすると、その都度ブザー音を消すことができます。



エラーメッセージ一覧

点検コード	エラーメッセージ	対処法
BExxx PExxx	システムの異常を検出したため運転を停止しました。取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	ERZP自動切替盤内にある切替スイッチを「(I系統)」側にし、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
	システムの異常を検出したため一部機能を停止しました。取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BE206 BE207 BE208 BE209	出力電力オーバー 接続機器が規定電力を超えたため、給電を停止しました。掃除機、電子レンジ、ドライヤー等、消費電力の大きな機器の使用は避けてください。	掃除機、電子レンジ、ドライヤー、ヒーターなど、消費電力の大きい機器のご使用はお控えください。
BE210 BE217	出力電力オーバー 接続機器が規定電力を超えたため、給電を停止しました。接続機器を減らした後、再起動を押して蓄電システムを再起動してください。	掃除機、電子レンジ、ドライヤー、ヒーターなど、消費電力の大きい機器のご使用はお控えください。
BE449	周囲温度が低温のため、給電が制限されています。接続機器を減らしてください。3分後、自動的に復帰します。	お使いの電気製品を減らして再度お試しください。
	周囲温度が低温のため、給電を停止しました。接続機器を減らした後、再起動を押して蓄電システムを再起動してください。	お使いの電気製品を減らして再度お試しください。
BE566 BE597 BE751 BE752	ファームウェアの更新に失敗したため、運転を停止しました。繰り返しメッセージが出る場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	お買い上げの販売会社にご連絡ください。

※「xxx」には3桁の点検コードが入ります。

点検コード	エラーメッセージ	対処法
BE598	全量買取設定が設定されていないため発電を停止しました。取扱説明書に記載されたお問い合わせ先にご連絡ください。	お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BE605 BE607	配線の異常を検出しました。再度配線をご確認ください。	お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BE610	システムの異常を検出したため運転を停止しました。取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	<p>■H型式の場合 リモコン上のエラーメッセージ下部の再起動を押してください。繰り返しメッセージが出る場合はお買い上げの販売会社にご連絡ください(OVGR)。</p> <p>■H型式以外の場合 お買い上げの販売会社にご連絡ください。</p>
BE611	システムの異常を検出したため運転を停止しました。取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	<p>■H型式の場合 リモコン上のエラーメッセージ下部の再起動を押してください。システム異常回復後も繰り返しメッセージが出る場合はお買い上げの販売会社にご連絡ください(RPR)。</p> <p>■H型式以外の場合 お買い上げの販売会社にご連絡ください。</p>
BE614	蓄電システムが自動停止しました。家庭内負荷をOFFし、発電が見込める状態で再起動を押してください。運転継続を希望する場合は、このまま再起動を押してください。詳しくは取扱説明書をご確認ください。	取扱説明書のP.55をご確認ください。
BF100	停電のお知らせ 非常時運転モードで設定したモードで動作します。停電から復帰したら自動的に切り替わり、通常の運転モードで設定します。	対処不要です。
BF221	外部電源接続異常 入力電圧の周波数が規定値を超えたため、給電を停止しました。外部電源の動作状態を確認してください。	外部電源を利用する場合について、取扱説明書のP.46をご確認ください。本製品は50Hzまたは60Hzの出力の製品のみご利用いただけます。
BF420	電池残量がありません。電池の大幅な劣化を防ぐため、充電を行ってください。	基本的には対処不要です。蓄電池に充電されると解除されます。
BF550	パワーコンディショナとの通信が切断されました。繰り返しメッセージが出る場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	基本的には対処不要です。繰り返す場合は取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。
BF576	システムの時計が停止したため発電を停止しました。繰り返しメッセージが出る場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先にご連絡ください。	基本的には対処不要です。繰り返す場合は取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。
BF582	出力制御スケジュールがないため発電を停止しました。ネットワーク通信をご確認ください。取扱説明書に記載されたお問い合わせ先にご連絡ください。	取扱説明書のP.75を参考に現在のネットワークの通信状態を確認してください。またルーター接続の場合は、配線やルーター設定をご確認ください。繰り返す場合は取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。
BF608	システムの異常を検出したため一部機能を停止しました。取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	<p>■H型式の場合 繰り返す場合はお買い上げの販売会社にご連絡ください(OVGR)。</p> <p>■H型式以外の場合 お買い上げの販売会社にご連絡ください。</p>
BF609	システムの異常を検出したため一部機能を停止しました。取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	<p>■H型式の場合 システム異常回復後も繰り返しメッセージが出る場合はお買い上げの販売会社にご連絡ください(RPR)。</p> <p>■H型式以外の場合 お買い上げの販売会社にご連絡ください。</p>

※「xxx」には3桁の点検コードが入ります。

点検コード	エラーメッセージ	対処法
PE213	外部電源接続異常 外部電源の入力電圧が規定電圧を超えたため、給電を停止しました。 外部電源の接続状態を確認してください。	外部電源を利用する場合について、取扱説明書のP.46をご確認ください。本製品はAC100Vの出力の製品のみご利用いただけます。
	外部電源接続異常 入力電圧が規定電圧を超えたため、給電を停止しました。 外部電源の接続状態を確認してください。 外部電源を確認した後、再起動を押してシステムを再起動してください。	外部電源を利用する場合について、取扱説明書のP.46をご確認ください。本製品はAC100Vの出力の製品のみご利用いただけます。
BC120	電圧上昇抑制限界 系統電圧が高いため放電を抑制しています。2~3日この状態が続くようでしたら、お買い上げの販売会社にご連絡ください。	お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BC220	外部電源接続異常 外部電源の接続に異常が確認されました。外部電源の接続状態を確認してください。繰り返しメッセージが出る場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先にご連絡ください。	外部電源とEXボックスの接続状態を確認してください。繰り返し場合は取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。
BC403	過充電状態のため、充電が制限されています。放電は可能です。状態確認後、自動的に復帰します。	対処不要です。
BC404	過放電状態のため、給電が制限されています。充電は可能です。状態確認後、自動的に復帰します。	対処不要です。
BC448	周囲温度が低温のため、給電が制限されています。充電は可能です。状態確認後、自動的に復帰します。	対処不要です。
BC512 BC528	パワーコンディショナのファンが停止しました。繰り返しメッセージが出る場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	基本的には対処不要です。繰り返し場合は取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。
BC551	ネットワーク通信に障害が発生しています。ネットワーク配線、ルーター設定等をご確認ください。繰り返しメッセージが出る場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へお早めにご連絡ください。	取扱説明書のP.75を参考に現在のネットワークの通信状態を確認してください。またルーター接続の場合は、配線やルーター設定をご確認ください。繰り返し場合は取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。
BC562	サーバー通信に障害が発生しています。繰り返しメッセージが出る場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へお早めにご連絡ください。	基本的には対処不要です。繰り返し場合は取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。
BC563	通信障害により、レジリエンスモードを解除できない状態である可能性があります。レジリエンスモードを解除する場合は任意の運転モードを設定してください。詳しくは取扱説明書をご確認ください。	レジリエンスモード中に運転モードを変更すると、レジリエンスモード(充電状態)は解除され、通常の動作モードになります。BC563の発生中は、現在状況にあわせて運転モードの変更を推奨します。
BC577 BC581 BC585 BC586	電力会社のサーバ通信に障害が発生しています。繰り返しメッセージが出る場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先にご連絡ください。	基本的には対処不要です。繰り返し場合は取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。
BC603 BC604	パワーコンディショナのファンの想定運転時間を越えました。取扱説明書に記載されたお問い合わせ先にご連絡ください。	お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BC615	蓄電システム保護のため、太陽光パワーコンディショナの発電を一時停止します。 詳しくは取扱説明書をご確認ください。	基本的には対処不要です。取扱説明書のP.28をご確認ください。

※「xxx」には3桁の点検コードが入ります。

点検コード	エラーメッセージ	対処法
BC756	気象警報が発表されました。 お客様の設定に応じて動作します。 詳しくは取扱説明書をご確認ください。	対処不要です。 レジリエンスモードの設定に応じて動作します。レジリエンスモードについては取扱説明書のP.42をご確認ください。レジリエンスモードを無効の場合は充電動作は行いませんが、一度有効に設定したことがある場合は本お知らせが表示されます。
BC757	気象警報が解除されました。	対処不要です。 レジリエンスモードの設定に応じて動作します。レジリエンスモードについては取扱説明書のP.42をご確認ください。レジリエンスモードが有効の場合は警報解除時運転モードで設定した運転モードに移行します。
BCxxx PCxxx BFxxx	システムの異常を検出したため運転を停止しました。安全確認後、自動的に復帰します。繰り返しメッセージが出る場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	お買い上げの販売会社にご連絡ください。
	システムの状態を確認しています。繰り返しメッセージが出る場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	お買い上げの販売会社にご連絡ください。

※「xxx」には3桁の点検コードが入ります。

他の機器（制御機器）と本システム接続時のエラー表示に関する注意点

HEMS 機器など制御機器と本製品を接続した場合、リモコンで表示されるエラーと制御機器で表示されるエラーは完全には一致していません。本製品のエラーの詳細についてはリモコン画面をご確認ください。

お知らせ

- リモコン画面でエラーが表示されていても、制御機器にはエラーが表示されない場合があります。
- 制御機器には、本製品のエラーの詳細は表示されず、エラーの有無についての情報のみ表示されます。
- 制御機器でのエラー表示方法は機器ごとに異なります。機器の販売メーカーにご確認ください。

保証について

保証については保証書の内容をよくお読みください。

また、お買い上げの販売会社からの説明を受け「同意」のもと正しくご使用ください。

アフターサービスについて

ご相談および、ご不明な点は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

修理を依頼される場合は次のことをお知らせください。

- ・お買い上げ時期
- ・装置の型式と製造番号（装置貼付の定格ラベル（P.14）、機器情報画面（P.77）に表示）
- ・故障の状況（点検コード、故障発生時の時間と天候など）

Enerezza® Plus II の移設について

お客様ご自身では移設を行わないでください。移設するときは、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。機器を一時保管する場合は、屋内（湿気の少ないところ）に保管してください。

蓄電池ユニットの廃棄について

蓄電池ユニットは指定業者での回収となります。廃棄するときは、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

費用はお客様負担となります。

蓄電池ユニットの増設について

本システムが最初に設置されてから2年以内かつ在庫がある限りは、蓄電池ユニットの増設をすることができます。

蓄電池ユニットの増設については、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

増設する場合は下記の電力量になります。

● 1台増設

増設前 → 増設後
なし → 5.7kWh
5.7kWh → 11.4kWh
11.4kWh → 17.1kWh

● 2台増設

増設前 → 増設後
なし → 11.4kWh
5.7kWh → 17.1kWh

拡張ユニット（マルチ／ハイブリッド）の増設について

在庫がある限りは、拡張ユニットを増設または交換することができます。

拡張ユニットの増設については、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

- ・拡張ユニットを増設するケース：本システムが蓄電池ユニットとパワーコンディショナのみで設置されている場合
- ・拡張ユニットを交換するケース：本システムが蓄電池ユニットとパワーコンディショナとハイブリッド拡張ユニットで設置されている場合

拡張ユニットの増設については、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

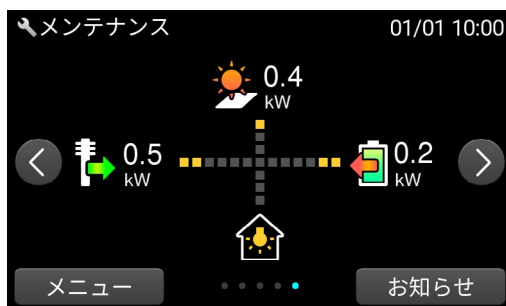
ソフトウェアの自動更新について

本製品の性能維持・向上を目的として、本ソフトウェアが自動更新される場合があります。

ソフトウェアの更新中は、本システムは停止となります。この間リモコンの画面はアップデート開始直前の状態を表示しますが、異常ではありません。

蓄電池ユニットのメンテナンスモードについて

メンテナンスモードは、当社が必要に応じて実施します。メンテナンスモード中は、トップ画面左上に「メンテナンス」と表示されます。



メンテナンスモード中の動作

メンテナンスモード中は時間帯に関係なく、蓄電池残量0%まで放電したあと、100%まで充電を行います。100%まで充電したあとは通常モードに戻ります。

お知らせ

- ・メンテナンスモード実行中も、普段と同じように、電気製品をお使いいただけます。

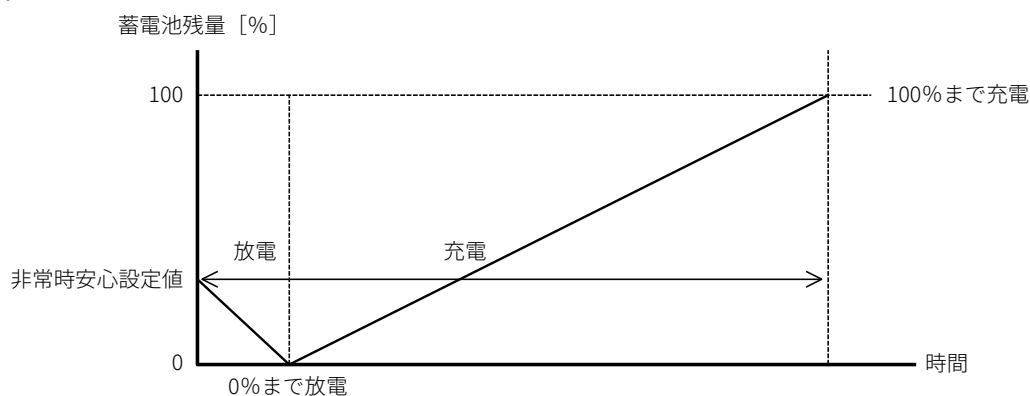
メンテナンスモードが長時間継続し、終わらない場合

屋内の消費が十分であれば、メンテナンスモードは通常2日程度で終了します。ただし、次の場合は0%まで放電するのに時間がかかるため、メンテナンスモードが長時間継続する場合があります。

- ・ 屋内の電気の消費が少ない
- ・ 燃料電池などの外部発電機を併設している

お知らせ

- ・ メンテナンスモードに要する時間は蓄電池残量や消費電力によって変わります。
(例)
17.1kWhシステムの場合は、屋内の消費電力が1000Wでメンテナンスモード開始時の蓄電池残量が30%の場合、メンテナンスモードに要する目安時間は約10時間です。
- ・ 空調などを稼働することで早く終了させることができます。
- ・ メンテナンスモード中に停電や機器異常が発生すると、メンテナンスモードは中止します。
- ・ 1週間以上メンテナンスモードが継続する場合はお買い上げの販売会社にご相談ください。
- ・ 台風接近などでメンテナンスモードを中止したい場合は、本システムを停止・起動させてください (P.82)。
- ・ メンテナンスモード中に運転停止した場合、「待機モード」で運転再開するため、運転モードも変更してください (P.61)。



メンテナンスモード動作時イメージ

蓄電池ユニットのメンテナンスについて

お客様自身で行っていただくメンテナンスはございません。製品について気になることがありましたら、販売会社にご確認ください。

仕様

■ 蓄電池ユニット

項目	仕様
型式	LBS-0570
外形寸法	W485 × H562 × D280 [mm]
質量	64kg
色	アイボリー
設置場所	屋内・屋外
電池種類	リチウムイオン電池
定格容量※1	5.7kWh / 11.4kWh / 17.1kWh
蓄電池 定格電力	連系 1.5kW ※2 / 自立 3.0kW (蓄電池ユニット 1台)
	連系 3.0kW ※2 / 自立 4.5kW (蓄電池ユニット 2台)
	連系 4.5kW / 自立 4.5kW (蓄電池ユニット 3台)

■ リモコン

項目	仕様
型式	MRC02
外形寸法	W170 × H151 × D24 [mm]
質量	375g
色	ホワイト
設置場所	屋内
表示モニタ	タッチパネル式カラー液晶 (5.0 インチ)
ブザー	圧電ブザー (故障停止時お知らせ用)

■ 通信モデム (オプション)

項目	仕様
型式	CML001G
外形寸法	W138 × H65 × D17 [mm]
質量	85g
色	ホワイト
設置場所	屋内
通信方式	LTE カテゴリー 1
ブザー	圧電ブザー (故障停止時お知らせ用)
内蔵通信モジュール	ELS31- JK (認証番号 R: 003-150276, T: D150192003)

■ パワーコンディショナ

項目	仕様	
型式	MBS-591	
外形寸法	W485 × H642 × D225 [mm]	
質量 (取付板含む)	34kg	
色	アイボリー	
設置場所	屋外 (または屋内)	
冷却方式	内部冷却用 FAN ※3	
騒音	40dB 以下※4	
蓄電池入出力	定格電圧	DC153.6V
	運転可能電圧	DC90.0V-185.0V
交流出力	定格出力電力	5.9kW (連系) / 6.0kVA (自立) ※5
	定格電圧	AC 202V ± 12V 単相 2 線式 / 3 線接続 (連系) AC 202V ± 12V / AC 101V ± 6V 単相 3 線式 (自立)
	周波数	50 / 60Hz
電力変換効率※6	[宅内負荷] 太陽光発電効率: 96% 蓄電池放電効率: 95.5% [蓄電池充電] 充電効率 (系統): 95.5% 充電効率 (太陽光発電): 95%	
絶縁方式	非絶縁トランスレス方式	
運転停止時消費電力	25W	
自立運転時待機消費電力	50W	
連系保護機能	交流過電圧 (OVR)、交流不足電圧 (UVR) 周波数上昇 (OFR)、周波数低下 (UFR) 受動的単独運転検出、 能動的単独運転検出、逆電力 (RPR) ※7	

※1 初期実効容量は5.0kW/10.1kW/15.2kW (JISC4413による) です。

※2 HEMS機器など制御機器やサーバから制御されている場合には、最大4.5kWまでの電力で一時的に動作することがあります。

※3 筐体内温度に応じて内部冷却用FANが動作します。

※4 運転時にJISZ8732 (2021) に基づき無響音室で測定した値です。

※5 自立: 片相3.0kVA

※6 JIS C 8961に基づく効率(定格負荷効率)測定方法による。

※7 蓄電池からの放電時において逆潮流を防止するため、約100Wの順潮流 (買電) 制御を行います。また安定動作のため、100Wの順潮流 (買電) が発生するまでは、蓄電池からの放電は行いません。

■マルチ拡張ユニット

項目	仕様
型式	PVU-720E
外形寸法	W485 × H642 × D225 [mm]
質量（取付板含む）	33kg
色	アイボリー
騒音	40dB 以下
太陽電池入力	
定格電圧	DC320.0V
運転可能電圧	DC35.0V-450.0V
過積載	12kW
最大動作電力	Max DC7.2kW（1回路 DC2.4kW）
過積載	Max DC12kW（1回路 DC3.0kW）
外部電力入力	
入力電力	0.2kW-1.5kW
入力電圧範囲	AC85.0V-115.0V
絶縁方式	非絶縁トランスレス方式(PVユニット) 高周波絶縁トランス方式（外部電源）

■EX ボックス

項目	仕様
型式	KYO-EXB01 / KYO-EXB02
外形寸法	W257 × H103 × D230 [mm]
質量	1.9kg
色	アイボリー
設置場所	屋内・屋外
交流入力	
定格入力電力	1.5kW
入力電圧範囲	AC85.0V-115.0V
最大入力電流	15A
周波数	50 / 60Hz

■ハイブリッド拡張ユニット

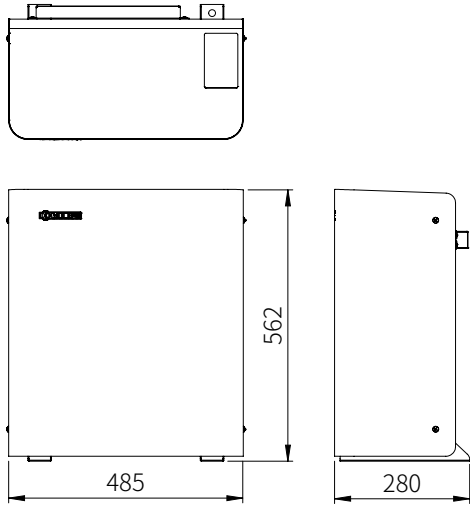
項目	仕様
型式	PVU-720
外形寸法	W485 × H642 × D225 [mm]
質量（取付板含む）	30kg
色	アイボリー
騒音	40dB 以下
太陽電池入力	
定格電圧	DC320.0V
運転可能電圧	DC35.0V-450.0V
過積載	12kW
最大動作電力	Max DC7.2kW（1回路 DC2.4kW）
絶縁方式	非絶縁トランスレス方式

お知らせ

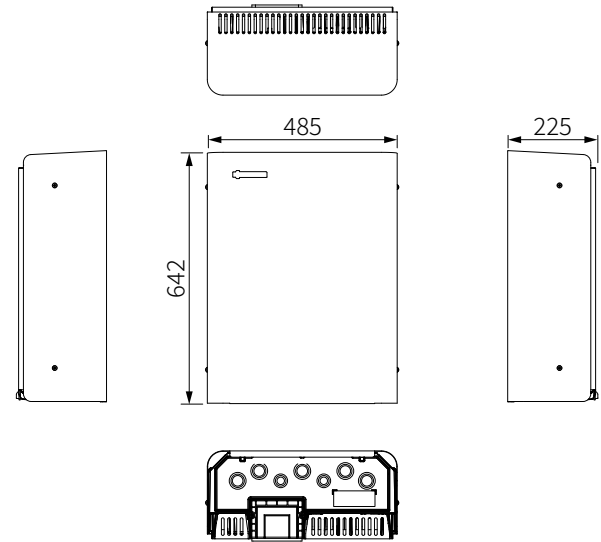
- ・拡張ユニットの「過積載」はパワーコンディショナに接続することができる容量であり、最大の発電ではありません。本製品は最大動作電力7.2kWまで発電することができます。

外形寸法

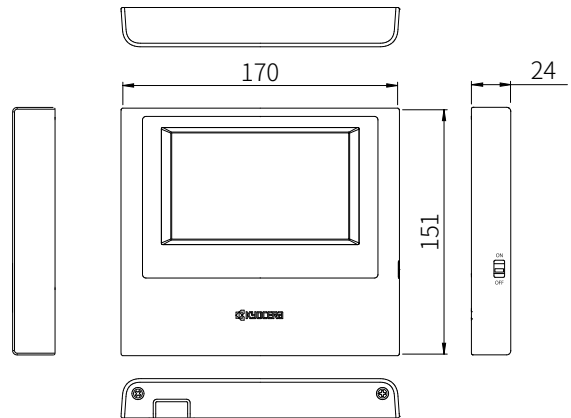
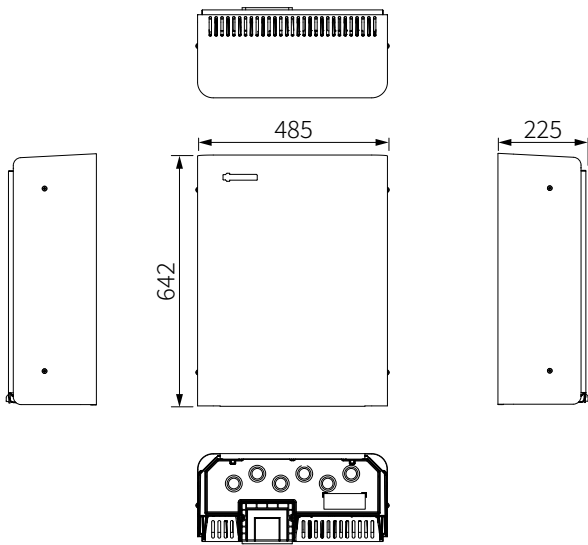
■蓄電池ユニット



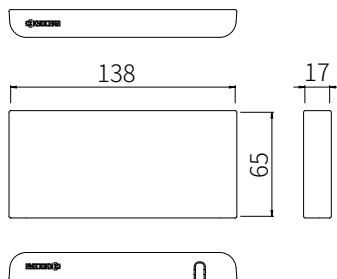
■パワーコンディショナ



■拡張ユニット(マルチ/ハイブリッド) ■リモコン



■通信モデム(オプション)



単位：mm

リモコンの初期値一覧

項目	初期値
運転モード	グリーンモード
充電時刻	23：05-06：59
放電時刻	10：00-22：59
非常時運転モード	電池放電優先モード
非常時安心設定	OFF (0%)
現在日時	—
画面の明るさ	3
画面オフ時間	3分
操作音	ON

項目	初期値
アンペアブレーカ値	制限なし
買電充電量設定	100%
停電時出力設定	6.0kW
外部電源電力設定	1.0kW
外部電源充電設定	OFF
外部電源入力設定	ON
ネットワーク	使用する
レジリエンスモード	OFF
設定リセット	—

ソフトウェアライセンスについて

リモコン・MRC02（以下、「本製品」といいます）は、当社以外の第三者が規定した使用許諾契約または著作権通知書（以下、総称して「使用許諾契約等」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネツ（以下、「フリーソフトウェア」といいます）を使用しています。

本製品で使用しているフリーソフトウェアおよび各フリーソフトウェアの適用ライセンスは下記になります。各ライセンスの詳細は京セラWebサイト(<https://www.kyocera.co.jp/solar/products/enerenza-plus-2/>)でご確認ください。

フリーソフトウェア名	適用ライセンス
amx3-cm3	TI-TSPA
base-files	GPLv2.0
base-passwd	GPLv2.0
bash	GPLv2.0
busybox	GPLv2.0
bzip2	bzip2
ca-certificates	GPLv2.0 MPL-2.0
cronie	ISC BSD-3-Clause BSD-2-Clause GPLv2.0
cryptodev-module	GPLv2.0
curl	MIT
devmem2	GPLv2.0
dosfstools	GPLv3.0
e2fsprogs	GPLv2.0 LGPLv2.0 BSD-3-Clause MIT
ethtool	GPLv2.0
eudev	GPLv2.0 LGPLv2.1+
expat	MIT
external-linaro-toolchain	LGPLv2.1 GPLv3.0 GPLv3.0-with-GCC-exception
gawk	GPLv3.0
gdb	GPLv2.0 GPLv3.0 LGPLv2.0 LGPLv3.0
gdbm	GPLv2.0
grep	GPLv3.0
init-ifupdown	GPLv2.0
initscripts	GPLv2.0
jansson	MIT
kmod	LGPLv2.1+
libcap	BSD-3-Clause GPLv2.0
libffi	MIT
libpam	BSD-3-Clause GPLv2.0
libpcap	BSD-3-Clause
libusb1	LGPLv2.1+
kernel	GPLv2.0
md5	RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm
mmc-utils	GPLv2.0
modutils-initscripts	PD
mosquitto	EDL-V10 EPL-V20
mtd-utils	GPLv2.0
ncurses	MIT
netbase	GPLv2.0
NotoSansCJKjp	OFLv1.1
ntp	NTP

openssh	BSD-3-Clause
openssl	openssl "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)" "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
opkg-utils	GPLv2.0
packagegroup-core-boot	MIT
parted	GPLv3.0
ppp	BSD-3-Clause GPLv2.0 LGPLv2.0+ PD
procps	GPLv2.0 LGPLv2.0
prueth-fw	TI-TFL
python	PSFv2
readline	GPLv3.0+
roboto	Apache License 2.0
run-postinsts	MIT
shadow	BSD-3-Clause Artistic-1.0
shadow-securetty	MIT
sqlite3	PD
strace	BSD-3-Clause
sysvinit	GPLv2.0
sysvinit-inittab	GPLv2.0
tcpdump	BSD-3-Clause
TeX-Gyre-Heros	GUST Font License(LPPLv1.3c+)
u-boot	GPLv2.0
update-rc.d	GPLv2.0
usbutils	GPLv2.0
util-linux	GPLv2.0 LGPLv2.1+ BSD-3-Clause
liblzma	PD
xz	GPLv2.0
zlib	Zlib

フリーソフトウェアの中には、使用許諾契約等において配布の条件として当該フリーソフトウェアのソースコードの入手を可能にすることを定めているものがございます。お客様が当該フリーソフトウェアのソースコードの入手をご希望の場合には、京セラのWebサイト内のお問い合わせフォーム(<http://www.kyocera.co.jp/inquiry>)よりご連絡ください。なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えいたしかねますので、あらかじめご了承ください。また、ソースコードの入手については、本製品の販売終了後3年に限り有効となっておりますので、ご注意ください。

フリーソフトウェアの中にはお客様による使用が認められるものがありますが、その場合当社、当該フリーソフトウェアの著作者を含む第三者は“as is”の状態、明示か黙示かを問わず、一切の保証（市場性や特定目的への適合性への保証を含みますがこれに限定されません）がないことを条件として提供します。フリーソフトウェアの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負担するものとします。また、フリーソフトウェアの欠陥を原因とする派生的費用や修理、修正等に要する費用はお客様の負担となります。損害発生の可能性を知らされていたか否かにかかわらず、当社、フリーソフトウェアの著作者、許諾を受けてフリーソフトウェアの変更、再配布をする第三者は、法令または書面による明示的な合意がある場合を除きフリーソフトウェアを使用したこと或いは使用できないことを原因とする一切の損害について何ら責任を負いません。この損害には通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます。また、データの喪失、その正確さの喪失、お客様や第三者の被った損害も含まれますがこれに限定されません。

本製品に内蔵または付属するソフトウェアの中には当社が所有権、著作権を有するものが含まれます。それらのソフトウェアのソースコード提供はいたしませんのでご了承ください。

補助金に関するご注意

購入時に SII（一般社団法人 環境共創イニシアチブ）関連の補助金の交付を受けた方は設置時から 6 年間の使用が義務付けられています。
設置から期間内に修理が必要になった場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

愛情点検



長年ご使用の太陽光発電 & 蓄電システムの点検を！

このような
症状は
ありませんか

- 漏電ブレーカが自動的に「切」になるとき
- 正しい使用方法に従って使用していても不明な点があるとき

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため必ず、販売会社にご相談ください。

京セラ株式会社

修理・アフターメンテナンスのご用命は、
「京セラ専用ダイヤル」へ



0120-33-5582 (無料)

受付時間 9:00-17:00 土曜・日曜・祝日も受け付けております。

- ・「Enerezza(ロゴ)」「Enerezza」「エネレッツァ」「ハウスマイル」は京セラ株式会社の登録商標です。
- ・QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- ・LTEは欧州電気通信標準協会 (ETSI) の登録商標です。
- ・ECHONETLiteはエコネットコンソーシアムの商標です。

お問い合わせ、ご相談は下記へご連絡ください。

京セラ株式会社

スマートエナジー事業本部

京都市伏見区竹田鳥羽殿町6 〒612-8501

© 2026 KYOCERA Corporation

当説明書に記載の情報は2026年3月時点のものです。
当説明書については、無断で複製、転載することを禁じます。